京城日報

十一月五日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇墺伊休戰調印

墺太利伊太利の休戰條約調印されたり（東京來急電報）

◇土國屈服の叫びは獨逸滅亡の弔鐘

土瓦解と露形勢變化

巴里來電＝十月三十一日午後佛國下院議長は海軍卿より一の報告あるべしと發表するや海相は演壇に上り「土耳其との休戰は三十日夜調印せられ三十一日午後より有効となれり該休戰條件は聯合艦隊がボスポラス海峡を經て黑海に到る自由通行ダーダネルス海峡に沿ふ砲臺の占領及び聯合國戰時俘虜全部の即時解放を含む」と述べたるが海相がダーダネルス海峡通過に關する一節を述べ終るや議場の各隅より大喝采起り全議員は總立となり數分間に亘つて拍手雷の如かりし一般の輿論は海相が議會の演壇に上りて斯く報告を爲したるに鑑み這は大戰終熄の序幕なり且つ土國の降服は獨逸滅亡の弔鐘なりとなし土國の降服は重大なる効果の伴なふべしと云ふに一致せり尚ほ聯合艦隊は今やダーダネルス海峡を通過して君府に航行し居れるを以て聯合國艦隊が黑海に到達せる暁には目下過激派に對抗しつゝある露國を援助することも可能なるべく土國の瓦解は露國及び近東の全形勢に大變化を來すべし（東京特電）

◇英土休戰發表

英國内相は十月卅一日英國下院に於て土耳其との休戰條約成立に關し發表する處ありたる旨某所に著電ありたり（東京特電）

◇維也納擾亂の巷

兵士勞兵會議設置同意

コッペンハーゲン來電＝維也納は今や擾亂の巷と化し暴徒は掠奪暴行を恣にしつゝあり市中には食糧皆無なり尚國民議會は市内の統治權を收めたるも兵士は勞兵會議を設置するに同意せりポーラ軍港に在る國民水兵は匈牙利及び南スラヴ人の用に供したる諸軍艦を征服せり（東京特電）

◇墺皇帝の命令

チュリッヒ來電＝墺國皇帝は維也納を退去するに際し官憲に命ずるに何等の抵抗を行はず新制度に服すべきを以てせり皇帝は又ヨセフ大公に同樣の旨を電報せりと（東京特電）

◇伊軍大勝利

敵軍總退却

十一月一日發伊太利公報に曰く戰鬪は繼續し且つ擴大しつゝあり敵はセント、エルヴイクよりアスチユに亘る陣地及びアジアゴ高原に於て頑強なる抵抗を持續しつゝあるも敵の全線は益々動搖しつゝあり其他の戰線に於て敵は總退却をなしつゝあり我軍はフェルトリを占領し輕歩兵縱隊は勇敢にファダートを包圍し騎兵縱隊はカオレルに到着したり尚大砲百門以上を鹵獲せるが分捕品の價格は數百億圓と推算さる（倫敦電報）

◇誇がに響く戰捷の鐘

三日伊太利軍はツレントを占領し一方同日伊太利軍艦は墺國南部なる同國第一の貿易港にして獨逸との關係最も深き現戰役中墺國軍事上の要地たるツリエストを占領しサンジユスト堡壘上に國旗を樹立せり右戰捷の報道本日に達するや開戰以來一度も撞鳴らされざりし羅馬の梵鐘は此の戰捷を祝賀して撞鳴され國民は祝賀歡呼の絶頂に達せり（四日午後九時東京伊太利大使館發公電）

◇敵の旗艦を撃沈す

某所着電＝一日未明伊國海軍造兵少佐ロスヘッチ、同軍醫ボーラッシイは短艇に乘りポーラ港（墺國南部アドリア海に於ける海軍根據地）に侵入し敵の旗艦ヴイリブス、ユニチスを撃沈せり（東京電）

◇南北和議困難

廣東國會は徐世昌總統を辭せず北京國會を解散せざる間は和議談判に應ぜざる旨を決議せり（北京電報）

◇平和期成大會

三日平和期成大會を開催し蔡元培會長に當選せり（北京電報）

◇土方久元伯薨去

危篤を傳へられし伯爵土方久元氏は四日午後二時薨去せり享年八十六歳（東京電報）

▲略歷　故土方久元伯爵家は遠く天皇の皇子久良千宿土方雄太夫の後十數世を經て民部秀久に至る秀久今川一秀に仕へ永正年間斯波義達と引馬野に戰ひて武功あり其子久能今川義元に從ひ七百五十石を領し永祿三年桶狹間の役に戰死す其孫久則一内一豐に仕へ二百石を領す爾來世々山内家に臨身して久元に至る土方家は其長男にして天保四年十月十六日を以て生る曾て七卿に隨伴して長州に走り又屆に屆して蛤禁に下れり大に王事に勤勞し維新後朝廷に出て政官に出仕し爾後内吏、内務少輔、宮内少輔、内閣一等官、農商務大臣等に歷任し後宮内大臣に任ぜられ在職十年の久しきに及ぶ明治十七年勳功に依り華族に列し子爵を授けられ同二十八年伯爵に陞叙同二十九年宮内大臣の職を辭し特に大臣禮遇を賜ひ爾來臨時帝室編修局總裁たり病氣危篤の趣天聞に達するや特旨を以て從一位に叙せらる

◇鐵道院輸送改良

改良工事實行か

鐵道院にては一昨年來輸送激増せし爲め貨車の大不足を感じつゝあるに加へ線路改良は材料騰貴の關係上意の如くならず此際十分徹底せる改良策を施すに非ざれば輸送上大困難生ずべく依つて此事情を斟酌し明年度の建設改良計畫を立つるに際しては大部分の改良工事を含まざるも建設豫定のものは特に材料を供給し消極的に實行することゝなるべしと（東京特電）

◇松方侯歸京

鎌倉に滯在中なりし松方侯は四日歸京せり（東京電報）

◇原總長不信任

四日前橋市に於て同志社校友會同毛支部大會を開き足利武千代氏の提議に基き原田總長の不信任を全會一致にて可決し實行委員を選擧し東京支部と行動を共にする事となれり（東京來急電報）

◎戰後各國の經濟的施設

米國官憲調査

近來米國商務省内外通商局に於て戰後各國に於ける經濟施設改造計畫に關する調査書を作製し商務長官に提出し其要領新聞紙に掲載せられたるが該通商局長の示達文要旨左の如し（日外務省着電十月廿八日）

▲示達文の要旨　戰後少くも當分の間各交戰國は其資源開發に專ら持久の策を取り敵國側の利益を排除すべきこと論無し聯合國側に於ても共通工業を恢復し財政の均衡を計ることに努むべきが各自共通の利益を考量し一定の方針を定むること必要なるべし此種國に於ては宜しく參戰の動機に顧み戰後に於ける通商上共通の利益を重ずるの精神よりして適當の時機に於て聯合國側と互に了解を計るの準備をなすこと肝要なるべし尤も今にして將來に拘束すべき方針を定むることを爲さず專ら材料を蒐集し且つ教育調査機關等に根本的措置を施すべき事必要なるべし尚ほ此の事業は統一を助ける爲め政府事業と爲す可然且つ政府當局は常に經濟問題に關する責任を自覺するを要す

▲本文中の要點（一）交戰國側も戰後は商工業に對する政府の管理又は參加著しく擴張せらるべしとの所見に一致す尚ほ管理又は參加は戰後改造時代に止まらず長く常態として繼續すべく商工業に對し政府の參加を希望する輿論は戰爭の結果勞働階級の向上發展に由り其勢力伸張すべしとの見込みに反映するものにして獨逸のアグラリアン（地主黨）も或程度迄此意見を贊成するは注意すべし經濟問題に關する政府の權限を擴張せんとする論には尚ほ（イ）政事的必要に基づく經濟的持久策（ロ）重要なる原料及び生産品に對する國家の管理なる二個の觀念あり右は孰れも英獨兩國に於て特に重きを置かれつゝあり（二）既存政治同盟は敵國側に對する味方の經濟的勢力を強固にする目的を以て漸次經濟的同盟と化するに至るべし彼の巴里經濟會議及び中歐帝國間に於ける經濟同盟に對する熱心なる運動の如き其一端を示すものなり（三）戰後經濟施設として相當機關を設け工業及び財政集中策を企畫する一種の運動英獨兩國に於て行はれつゝあり同時に英國に於ける領事制度を改革し佛獨墺三國に於ける信用制度を擴張し尚ほ一般に海運業を恢復するの計畫もあり（四）經濟問題に關する政府の參加論は獨逸に於て最も熱心に論議せられつゝあり右は二點に分たる（イ）經濟上の理由に基づく過度時代に於る政府の管理（ロ）財政上の理由に基づく永久的管理是なりシーメンスシユッケルト副社長ハルラーの如きは過度時代政府に於て（イ）船腹管理（ロ）輸入割當及び禁止（ハ）對外貸付管理（ニ）輸入品分配管理を必要とするの意義を發表せり又獨逸經濟省の意見にては獨逸は一切商業を管理するの必要を認め居らざる者の如く單に爲替關係及び船舶調査に付或程度の干渉を爲さんとする者の如し

◇慶北物産共進會概觀（下）

大邱にて　一記者

▲第三號館は屋上に章魚へ道を立て水族館たる事を示してゐる館内に入ると慶北沿岸の油絹で四周を廻らし、通路を橋に準らへ下に水を湛へて魚を入れ、いかにも水族館らしい感じを與へる、思ひ付も一寸好い、その先は沿岸の水産物たる鯛や鰤や、乾章魚さては田作り和布の類八百餘點が陳列してある、水産は本道として未だ大した額には達してないであらう、又海藻類も夥い、漁場も多いと云へぬ唯陳列魚種に見ると中々その種類は多い事を知られる

▲蠶業は朝鮮全道中慶北第一位にあり、これは前の事に踏捷官が非常の努力を以て獎勵した效け群を拔いてゐるのである、第四號館として蠶絲館の特設されたのは當然と云つてよい、館内に入ると、直ちに山十組の出品から蠶の生絲で鯉から鶴迄造りたる黄白の生絲で帆まで造り上げた出品が鮮かに見ゆる、生絲は總約二百點、黄白繭八百三十五點の陳列は場内を光らして、その出品の優秀なるは慥に本道の誇りである、繭粒色澤整齊何れに於ても内地本場の生産品に比し殆ど遜色は見出せぬやうだ、これが朝鮮婦人の手になつたものかと思ふと、蠶業の効果の大なるを稱せずに居れぬ、養蠶思想の普及發達に就て、本館の貢す效果は少くあるまい

▲第五號館は教育衛生の參考品と金融關係品が陳列されてゐる、然し彼是れ云ふ程のものはないやうである、唯教育參考品は學生などの製作物であり、衛生參考品は傳染病や各種重病患者の模型を陳列されてゐる、金融關係品は金融組合と農村關係を示したものであつた、五號館の後に續南關があり、階上を貴賓の休憩所に充てゝゐる、福岡の共進會の朝鮮館をその儘もつて來たのである、その他に商業館あり、奏樂堂、休憩所、苗木の陳列など色々あるが一々記述するは煩はしいから省く事にする

▽ロハの演舞館

▲協賛會で建てた演舞場はお粗末ながらセセッション式と稱されてある、大邱内鮮兩妓の演舞をやる所だ、唯此の共進會の演舞場は無料で觀覽さすると云ふ大勉强振りである、從つて觀覽者は青天井の下に立ちながら日射や風を受けねばならぬ、又出演の藝妓連は特別に多くの收入もあるまいし、協賛會はこれで協賛會の補足をすると云ふ譯でもないから、妓の衣裳とか、藝とかに華美巧作を求むるは求むる者の無理、又纏皮の剝けた美人を大邱に求むるのも求むる者の無理であらう、唯五錢の入場料で共進會を見、更に藝妓の手踊りや妓生の舞ひまでが觀覽出來ると云ふ所に有難味を感ぜねばなるまい、更に此の共進會の花形であり又呼物は協賛會で招聘した山縣氏の操縦する飛行機鵄號である、二十日間に三千圓を出すと云ふから豪い奮發だが、奮發をしたゞけ價値がある

▲要するに大邱の共進會は要領よく出來た見頃の共進會である地方の共進會として成功せる共進會と稱してよからう、若し費用に於て事情が許すならば何人にもその觀覽を勸むるに躊躇せぬ、尚ほ鈴木慶北長官が七十一歳の高齢なるに拘はらず共進會長として元氣旺盛、各種の方面に活動し、その精力の絶倫なるを示してゐられるのは敬服に値する（終）

◎浦鹽財界近況

浦鹽松田銀行部より鮮銀本店への報によれば浦鹽奧地に於ける物資の潤渇と貨車の給不足は特産物の出廻を甚しく不振ならしめ從つて輸出は依然杜絶の状態にあり又輸入方面にありては軍隊の出動愈々奧地に進むに伴ない新なる渡來品は頓に增加し殊に西伯利資金料品等の移動亦頗る旺盛を呈せるが如きも之れ時局に伴ふ一時的現象にして一般貨物の輸入は未だ見るべきものなし

◎辭令

四日附左の通り辭令ありたり

兼任朝鮮總督府臨時土地調査局監査官　朝鮮總督府事務官　見矢木欽爾

同　福田源一

同　平山正祥

同　石村義太郎

任總督府道技師（七）　大野庄三郎

任總督府道技師（八等）京畿道在勤を命ず　土方錦次郎

慶尚南道在勤を命ず　總督府技手　矢島杉造

總督府高等土地調査委員會委員を命ず

◎荷主の打撃

新運賃制實施前の連帶貨物申込者

十日より實施すべき朝鮮鐵道の穀類新運賃は從來の長距離遞減釜山集中策を捨て長距離引上げ▲短距離下げとし釜山集中を各港分散せしめたる等の點に於て一部の反對ある外大體に好感を以て迎へられつゝあり唯茲に問題となり居れるは新運賃制の發表以前輸送を申込める貨物の運賃も來る十日以後は一樣に引上げらるゝ點にある如し現在此種輸送申込みは鮮内の分六萬噸强連帶二萬噸弱にして約八萬噸を超ゆるべし然も鮮内の輸送分は短距離の運賃引下げ等もあり哩數も少く概して荷主の不平を惹起し居らざれど

▲内地運帶の二萬噸弱は多く五六月以降十月までの申込にして其間内地の仕向け先と朝鮮出荷者との間の商談は從來の運賃を以て輕へ先方渡しとなり居れるに付此際急に長距離運賃の引上げを行はれては朝鮮荷主の受くべき損害僅少ならず現に共益社の如きは少からざる打撃を蒙るに似たり此點に於て各貨主は新運賃制發表乃ち十月下旬以前の輸送申込みは從來の運賃にて輸送されたき旨京管局に交渉せしも京管局者よりは事情は素より諒とするもその請に應じ難しとの回答あり輸送の依滯に▲金利藏敷荷痛みの損失を負擔し又復既約の輸送申込分の運賃を引上げられては甚だしき苦痛なりと稱しつゝあり

◎資金集散概算

十一月中に於ける朝鮮資金の集散概算に付鮮銀の調査を聞くに收納に於て二百三十八萬八千七百四十八圓散出十七萬九千六百五十圓にしてその内譯は左の如し

▲收納	
關稅及び內國稅	一、九四七、七四八圓
諸會社株金拂込	四四一、〇〇〇
計	二、三八八、七四八
一月以降累計	一四、三三四、三四六
▲散出	
諸會社利益配當	一四六、八八〇圓
債券利子	三二、七七〇
計	一七九、六五〇
一月以降累計	四、四五一、九八一

◎殖銀店長會議

朝鮮殖產銀行にては既報の如く開港場並に各道廳所在主要支店長十六名を召集七日より五日間店長會議を開會する事となりしが本店よりは重役以下各課長主要職員出席營業方針その他に就き協議する由

◎朝鮮皮革總會（年四分）

永登浦の朝鮮皮革會社に於ては來る七日本社に株主定時總會を開き年四分の配當案を附議する由

◎水道新設許可

既報の如く京城水道當局は給水不足を理由の下に本年四月一日より既設の申込を拒絶して給水を爲さず一般市民の迷惑不便少からざりしが愈今回より新規の申込を受理しつゝ一般の給水を爲す事となせり

◎桑苗植付準備

京畿道に於ける明春の植桑數は接木苗五百五十萬本實生苗二百十萬本計七百六十萬本にして各郡は十一月上旬迄に植桑督勵委員の打合せを了へ十一月十五日より十日間に亘り一齊に掘り穴を完了せしむべく而して京畿道農業當局にては既に桑苗植付け準備に取掛り原蠶種製造所に於ける蠶種檢査其他にて多忙を極めつゝありと

◎鮮銀券發行高

十月二十七日より十一月二日に至る一週間の朝鮮銀行券發行平均高八千八百四十二萬一千三百二十八圓にして週末の發行高は八千八百九十五萬一千六百零三圓なり

◎軍司令官出發

軍司令官宇都宮太郎中將は平澤高級副官帶同五日午前八時五十分龍山驛發列車にて朝鮮軍狀況巡視並に陸軍特別大演習陪觀のため直路東上せり

◎鮮銀浦鹽派員

朝鮮銀行の浦鹽派遣員堤嘉三氏は過般來歸朝中の所五日午前十一時五十分南大門驛發列車にて元山經由浦鹽に向へり

◎上田氏歸國

病氣中なりし上田元三氏は五日午前八時四十分南大門驛發郷里熊本に歸れり

人事消息

▲小倉武之助氏（大邱電氣社長）五日朝入京山本へ

▲長尾半平氏（鐵道院理事）五日朝入京朝鮮ホテルへ

▲倉富鈞氏（鮮銀國庫課長）大連より五日朝着任

茶前酒後

◆土耳其既に屈服し、墺匈國亦四分五裂して收拾すべからず。遂に伊太利と休戰を約す。茲に於て獨逸は、總ての共味方を失へり、彼は遂に手足を捥がれたる蟹の如し。最早其橫行を擅にするを得ず、徒らに眼を瞑せ、泡を吹くも、遂に如何ともする能はざるべし。

◆講和は步一歩、實現に近づきつゝあり。吾人竊に惟ふは、戰後の各國状態にあり。聯合國側に於ては、獨逸は遂に立つ能はざる迄も、膺懲せよと絶叫するも、獨逸が果して、聯合國の目的通り、破壞せらるゝか否やは、面白き問題也。

◆獨逸新聞は、ウイルソンの休戰條件を評して曰く、斯の如きは、獨逸に取りナポレオン、ボナパートの時代以後に於ける、最大屈辱也。而も勇敢なる國民は、斯る屈辱が、若し必要なりとせば、之れを忍び得る也と論ぜり。其所論の底には、明かに臥薪嘗膽の意氣を見るべし。而して臥薪嘗膽が、徒爾に終らざる可きを、信ずるの自覺も亦明かに見ゆ。之れを引かれ者の小唄と見るは非也。獨逸今日の眞情を、赤裸々に吐露せし者也と見ざるべからず。

◆英國は講和を議するに當つて、依然海上の覇者たる地位を、持續せんことを主張すべし。外相バルフォアは吾人の海上聯絡は、如何なる事情の下にあるも之を危うするを許さずと述べたり。英國が獨逸殖民地還附を肯んぜず、獨逸海軍力の破滅を必要とする處、亦茲に論據すべし。然れども戰後將來の海洋に於て、英國と拮抗し、若くは競爭を試みて其覇を掌中に收めんとするは、獨逸に非ずして、寧ろ米國たるの觀あり。

◆米國は今や、二千五百萬噸の船腹を有し、戰艦三十七隻、巡洋艦十二隻を基礎とする、雄大なる海軍を有し、事實に於て英國を凌がんとする、大抱負を以て立ちつゝあり。バルフォアが、倫敦とシドニーとの關係は、華盛頓と桑港との如き、同一關係を保つを得ずと述べたるは、獨逸に對するよりも、米國を尻目に掛しが如く見ねざるにも非ず。戰後列國の活躍は蓋し空前の盛況を呈せん。

●特約店募集　資金貸與法有

物價暴騰の今日本社は資本の増加と大工場を完成し仲介商の手を經ずして直送するが故に市價の三分の一で數千種の商品を直に仕入られ地方小賣店にて始めて月二百圓の收利有此際町村の特約權を得て活動せよ少資本で金儲が出來る希望者は返券入東京神田區橋本町日本通商株式會社へ申込むと飛んで貰へる數百種の商品表及營業案内の一冊進呈す

●活動寫眞器械

●公衆用　百五十圓以上　各種
●家庭用　八拾圓以上
●少年用　二圓五拾錢以上
▲フイルム（一尺拾錢以上種々）
活動寫眞常設館又ハ地方巡業用新設ハ特ニ御便利ニ御相談可仕候

●幻燈器械

●公衆用　十三圓以上
●家庭用　五圓以上　各種
●少年用　壹圓以上
▲幻燈映畫（教育風景宗教數千種）
○目錄は御明名記入御請求次第送呈（郵券貳錢）

大阪市西區新町通壹丁目　高木商店　電話新町一〇一九番　振替大阪三九〇四番

モーター

發電機、變壓器、配電盤、諸材料、在庫品

朝鮮京城明治町二丁目

株式會社　川北電氣企業社　製品販賣假事務所

■清水式精米機鮮滿一手販賣

◎（△口）◎

可驚　金儲　百圓が投資に三年に　千圓

安全確實なる利殖法　速成　大阪市九條通一丁目　共成社

一枚革　深ゴム靴　編上靴

値段は高いが龜田の靴なら安心です世評いくら申上ても言葉はだけですお買下されば品質の割るより具合がよくて丈夫で耳にふ事が知れます

▲CBA 一枚革深ゴム靴　編上靴　金七圓五十錢　十一圓　金八圓五十錢

▲御注文の節は御足の上に紙を敷き鉛筆にて足形を書き其周圍を御報知被下度候

▲營業品目錄寸法用紙御通知次第進呈

電話芝二二〇二　東京芝愛宕下町四丁目　振替東京四二七八　龜田商店

東京山本大印石版活版インキ特約販賣店
明治火災保險株式會社京城代理店
大阪海上火災保險株式會社京城代理店
つちやたび並ニいろはたび朝鮮代理店

貿易雜貨商　ヘ（商標）　藤富國太郎商店　京城本町三丁目　電話三〇八番　振替京城一七七八番

櫻岳藤戸計太著

最新朝鮮地理

總クロース金文字入八百五十頁定價二圓

一本書ノ内容ガ如何ニ豐富ニシテ完備セルカハ之レ内外地理ノ大家ナル志賀重昂先生ノ序文ノ一節「君ハ賓ニ帝國希觀ノ朝鮮通ニシテ此ノ書ハ賓ニ帝國希觀ノ朝鮮地理書ナリトス帝國希觀ノ朝鮮通ニシテ帝國希觀ノ朝鮮地理書ヲ著ス予ガ最新朝鮮地理ノ名ニ眞意義ノ存スト云フモノ」ニ觀レバ又多言ヲ要セザルベシ

一特色—　印錄トシテアイウエオ朝道府郡島面里洞及内地人地名索引表ヲ附ケ加セルヲ以テ普通朝鮮名一般事情ヲ知ルニ便ナリ

一各學校ハ勿論官廳各會社、教育家實業家ニハ缺グベカラザル良參考書ナリ

此際御下命に限り特に送料當方負擔に仕候但し代金引換小包を除く

發行所　合資會社京城日報社代理部　電話六〇〇九番（構內一八番）振替京城三〇〇番（電略タ）

取次販賣所　大阪屋號　巖松堂　日韓書房

大正七年七月一日改正現行

○産金の中心地

イルクツク州の産金は全露の四分の一 米國では疾うから調査に着手してゐる

◇鑛山拂下をなすまでに……

從軍記者 早川磐溪

今回外國人にも鑛山を拂下げる事になつたイルクツク州は鑛物の豐産地である事は世間周知の事であるが今概況を聞くに金は西伯利に於る産金中心地として有名であるが千八百四十三年オレクミンスク金山地方で含金砂を發見して以來頓に金鑛業が發達した其後ビチイム地方に巨大の鑛山が發見されてからは資本金千六百五十萬留のレナ會社が出來たが同會社は年々三百九十七貫餘に全露産額の四分の一以上を採取した 今や同州に於ける金鑛業は

世界垂涎の的となり米國の如きは疾くから

此處に著眼し、既に鐵道隊員の名義で州内の鑛山を調査しつゝある鑛業家技術家が澤山あると云ふ評判さへ傳はつてゐるから、機微相通じつゝある全露政府が鑛山を拂下る事になつたならば大規模に利權の獲得をなすであらう、石炭は同州内到る處に炭脈を露出してゐるが目下採炭せられつゝあるものは三十數箇所に過ぎぬ、鐵はイルクツク市にニコラエフスクと云ふ大製鐵所があつて州内から産する豐富な鐵鑛を以て大規模に事業を經營したが不幸失敗に歸したため鐵鑛業は無限に蔵する鑛山と燃料を得るために大林業を經營し且つ巨億の資本を以てせねば成功せぬと言はれてゐる、其他の鑛業も頗る有望なものが多いが要するに

全露政府が外國人にも鑛山を解放するに至つた今日我

企業家は大いに奮起せねばならぬが今の處では久原の社員が調査に出掛けたばかりで其の他の方面では一向活動を開始したやうな話がない、某方面では三十九個だけ外國人に拂下げ其他は政府の特別の許可を要すると言ふのがどうも米國あたりの差金であるらしい、日本も此際ウカ〳〵してゐると米國に出し拔かれ人の糟を嘗めねばならぬと氣を廻してゐるが、實際平時に於て不用意な日本の實業家は西伯利に於ける鑛業狀態なども調査して居らぬので乘ず可き機會が來ても手も足も出せないやうな始末であるとは情ない話だ

◇中華民國新大總統 徐世昌氏夫人（最近の撮影）

▽癈人の群

◇哀れ片足中佐

國が潰れたので恩給も貰へぬ氣の毒な人々

霜凍る西伯利の鐵道旅行に於て、市内に於て、最も痛々しく見受けられるのは、癈人や乞食の多いことである、乞食が列車に入つて來て物乞ひする事は一度書いたが、市中を歩くと、人通りの賑やかな街中に片眼潰れたり、跛足をしたり、手のない乞食が立つてゐて、力もなげに頭を下げてゐる、日本の乞食ならば『お通りすがりの旦那樣』と文切型に出る所だが

◇歎々として居る處が◇如何にも同情を惹く

或者は手を擴げたまゝで立つてゐる、或者は帽子を脫いで持つてゐる、同情深い紳士や、慈善家の婦人達が立止つて、金をその帽子の中に入れてやると一寸ばかり頭を下げる、日本ならば頭を土に擂り付けねば、慈善心に厚い貴婦人も滿足らしい表情をせぬが、露西亞は开麼ことには一向頓着しないらしい氣の毒なのは日露戰爭や、今度の戰爭や革命騷ぎで、負傷した軍人が廢兵となり殘手殘足の憐な姿で路頭に迷つてゐるのであるが此等の人々は

◇國家が潰れて了つたので、恩給も貰へねば手當てもない、寫眞の主の如きは元哥薩克の一中佐であつたが東部戰線で片足挽れて西伯利に後送されたが革命亂で一家は離散し、今は頭髮を蓬々とのばし、アレキサンドリヤ街の商店の軒端に氣の毒な姿を曝してゐる

☆浦鹽の赤十字病院☆

白い襟に桐花をつけ〔二十二人の選拔された看護婦が甲斐々々しく

『日本のお醫者』の評判はよい

◇菊池總領事夫人等の花々しい活動

從軍記者 金谷眞

浦鹽の小春日にイギリスシエードの赤十字病院を訪問する、街の南端ロスキー島と鼻合せの岬の突角金角灣を一瞬の下に集むる丘上まで行くと鼠色の巨艦が卻々と入港する、旗は英國のものらしい、甲板からは軍樂隊の奏樂の音を送る、病院は元の露國の衛戍病院跡、浦鹽も三寒四溫の暖かい陽光がのどかさうで事務所には志賀一等軍醫正首め醫員、調劑員の數名あり

肩章や胸の赤十字章など鳥渡

見馴れぬ服裝であつた、浦鹽の日本病院は此處と海兵團の陸軍臨時病院の二つしかなく後者も近く兵站病院と更替するといふ位で廣い病室はガラ空の儘、お向ひのロスキー島にある米國の病院はこれも閑散、さらば此處赤十字救護班は如何かといふとこれも餘り繁昌の樣にも見えぬ、病室を見廻ると各室共にチエツクと哥薩克の軍人ばかり、壁には雜誌の日本繪なぞを飾つた者もあつてやさしい草花を挿た室もある、病院で治療した人員は本年七月以來三百餘人、チエツク兵から哥薩克、佛軍等の軍人は殆んど此處に收容した、外人の最も悅ぶのは

日本人の親切

白い病衣を貰ふことと食事の御馳走も彼等にとつて大な眞心とであつた、それに九月の三十日からは男子の看護人に代つて白衣の看護婦が廿二名來た、内二人は婦長であとの廿名は内地の各赤十字支部から撰拔された人々眞白い襟に銀色の桐花の徽章をつけた姿で何れも甲斐々々しく立働いて居る、その以前までは在留邦人婦人——主として菊池總領事の夫人などが殆んど毎日のやうに看護してゐた、双方共に言語は不自由だが些細な事は手眞似で充分意味がされるさうである、チエツクは日本人同樣に禮儀が正しくて全治した者は度々御禮に來るといふとであつた、近くまた多數の病傷者が來るのでその準備も忙し相だつたが外に外來患者も毎日多數に押し寄せて來る

露人の間でも

『日本のお醫者』の又評判は大層よい。赤十字病院の活動と共に浦鹽在留の日本婦人たちの眞心も充分露人やチエツク軍に感謝せられてゐる殊に菊池總領事夫人初め在留邦人の主なる婦人達は本年の七月以來慈善會に看病に繃帶巻きに非常な努力、慈善會の切符賣上高も一萬數千圓の日本側が最高位で、その他あらゆる方面に日本婦人會が一番よい成績を擧げてゐるのは在留婦人の優しい誇りであるらしい

◇浦鹽赤十字病院 看護婦の繃帶交換（患者はチエツク兵）と菊池總領事夫人（金谷生撮影）

○軍用列車衝突

オロワンナヤ驛の大椿事詳報

一等卒即死負傷多數

相手がスーボー式で始末がつかぬ

去る二十五日午後三時オノン河の西岸なるオロワンナヤ驛に於て我軍用列車が同驛構内に於て普通列車と衝突し車輛を破壞され多數の死傷者を出したる椿事ありたり、詳報を聞くに我軍用列車には歩兵○聯隊より撰拔したる一箇小隊搭乘し同驛より東方二十里餘のハタグラフ驛に向け發車せんとする際滿洲里よりチタに向ふ可き我軍需品列車が進行し來りしより、待避線に避けんとしたるが、此時連

結手の不注意より汽鑵車と列車の連結外

れたるため、汽鑵車のみ待避線に入り列車は本線に置き去られしかば人々不審に思ひ居たる折柄カルイムスカヤより普通列車驀進し來り、あれよと見る間に衝突し、汽鑵車は軍用列車にのし懸りしかば、車體は滅茶々々になつて斷崖より墜落したり乙がため車輛三輛顚覆し二輛は破壞され、一等卒中村正一（二四）は即死し小隊長堀田少尉は輕傷を負ひ其他重傷者十三名、輕傷者二十六名を出したるが機關士は危險と見るや逸早く飛び降り四名共無事なる事を得たり、椿事の報に接したる我守備兵及び驛員は直ちに駈けつけ應急策を講じ車輛に壓せられて、悶き苦しむ重輕傷者を救ひ出した

○紐育市電車脫線

紐育市にて電車脫線し八拾五名の慘死者を出せり（紐育電報）

○增貫公判

檢事棄却を主張

暴利取締規則違反に依り第一審第二審共懲役二箇月に處せられたる增田貫一に係る上告公判は四日午前十一時大審院刑事第二部に於て鶴見裁判長係り矢追檢事立會にて開廷上告理由の論述に次いで檢事は上告棄却の意見を述べ閉廷せり（東京特電）

◇烙畫の山水◇

＝朴秉洙翁作＝

寺内伯が朝鮮總督時代天下唯一と銘打つてから俄に有名になつた烙畫師全羅北道鎭安の朴秉洙翁は今回當地李完用伯の招きに依て來京し目下市内松峴洞五六李仁植氏方に滯在して同好者に對し烙畫教授中であるが同烙畫は熔鐵を以て繪を書くと云ふ頗る妙なもので今より百年前翁の祖父朴昌桂氏が始めて編出したもので朝鮮美術の一として近來注目せられて居る、寫眞の繪は翁の筆になつた山水の烙畫である

○普成校を返せ 困つた李鍾浩。

返せ〳〵で返されたはよいが一銀から受取れる筈の百萬圓が夢になつたので途方に暮る

さて普成校はこれからどうなる？

過般市內齋洞天道教會本部へ一人の男がやつて來て教會の經營して居る普成校を突然返して貰ひ度いと申込んだ、教會の方では餘り突飛な申込なので非常に面食らひ兎に角一應本人に會つて事情を聞いて見ると誰あらう十數年前の通帳を以つて

百萬圓を第一

銀行に請求して美事拒絕された李容翊の孫李鍾浩（三一）であつたので教會の方では成程と始めて事情は判明したが抑も普成校を李鍾浩の祖父李容翊から預かつたのは十數年前で而も其時學校は二十萬圓からの負債で二進も三進も動きが取れず愈々經營に困つた揚句無條件で今の教會に讓り渡したものであつた其後教會では二十萬圓の負債も消却した上毎月二千圓を支出して何うか斯うか今日迄漕ぎ上げて來た處を而も前讓り渡したまゝの

無條件で返せ

と申込まれたので大分八釜敷い問題は起きたが其處は社會を指導して行く丈けに世の爲めにする學校だから誰が經營しても同じ事それでは無條件で返上しましよう而し毎月二千圓の損失を支出する成算が有りますかと突つ込んで見た、そんな事は心配無用と李鍾浩は第一銀行百萬圓の通帳を出して證明したそれではと教會は一も二もなく承諾して快よく無條件で而も其場で學校を讓り渡して普成校と全然手を切つて終つた然るに李鍾浩は當然拂戾しが出來るものと思つてゐた

百萬圓が請求し

て見ると跡形もないので非常に狼狽した一方毎月二千圓宛の損失ある學校は引受けた泣き面に蜂と云つた惡で今では無鐵砲の考へを起した事を悔いてゐる由それにしても普成校は扨て向後何う處置される事であらう

○廉い筆墨

筆貳錢五厘 墨四錢五厘

李王家で實費で賣る

◇何故之を使はぬ

物價騰貴が學校用品に迄及びて父兄の困却一方ならざるこの際李王家にては何とか救濟の方法なきやとの有難き趣旨を奉じ同家美術品製作所が同所製作の筆墨を實費の筆二錢五厘より三錢、墨四錢五厘と云ふ

◇破格の安價を以て各學校に提供する外尚ほ多數の註文に對しては一割引をなす事となり以來各地學校は此安價なる筆墨を競ふて註文するに至り同所にては殆んど晝夜兼行を以て筆墨の製作に從事し需要を滿たし居れる始末なるが當地學校にては何故か此安價なる筆墨の

◇使用を喜ばざるの傾きあり依然として高價なる筆墨を使用せしむるが爲め父兄間に於て彼れ是れの非難を聞くに至れり然し同所にては市內學校が同所製品の使用を喜ばずとせば止むを得ざる事なれども斯くては王家御仁慈の趣旨も無になる事にて甚だ心苦しき事なりと矢上美術品製作所長は語つた

○釜山の火事

五日午前一時十分頃釜山府大倉町一丁目西肥商會所有の高島町十四番地陶器倉庫に隣接せる倉庫番の一室より出火したるが火は忽ち倉庫內に燃擴がり陶器梱包の藁に依つて其勢ひ益猛烈となり一時は如何なる大火となるかと憂慮されしが急報に接して駈付けたる警官及び市內各所の消防手全力を盡して消防に努めし爲め同倉庫二棟を烏有に歸せしめたるのみにて他に延燒せず二時五十分鎭火せり原因は目下取調中なるが多分倉庫番の粗漏より發火したるものならんとの事なり損害程度未だ判明せざるも建物三千圓商品六千圓合計九千圓位の見込なり（釜山特電）

○佐近丸遭難

新義州佐藤政敬所有帆船佐近丸（百四十七噸）は二日朝大青島西方五十浬の沖合にて舵機を損じ且つ漏水あり航行困難となり漂流中汽船鎭南丸に救助され曳船中仁川沖格列比島の北西方十七浬にて曳綱切斷しその儘放置せし由尚ほ同船長山渡宇佐松は曳船依頼のため汽船鎭南丸に乘じたる儘同航出來ず下關に赴き四日陸路仁川に到着したるが遭難の報こもに當局にても相當手配り中なりと

○明太魚の卵走り

咸北新浦産本明太魚卵は一日元山より平壤杉山商店に初入荷ありたるが品質良好にして市價小盥百匁二十錢見當を唱へ居れり（平壤）

○不正漁業

原籍山口縣都濃郡德山町一一一六當時長崎縣琴村字一井平島幸造方漁業三好精一（三）外石川某藤村某中村某の三名は共謀して不正漁業を爲し居たるが一日午後二時頃絕影島沖にて爆發藥を使用して牧之島へ歸る途中を擁して停船を命じたるに警備船三浦丸を見るや逸走渡船場附近に至り漁船を乘り捨て逃走したるが遂に三好一名逮捕され漁船内を搜

査したるに導火線其他の證據品を押收し目下取調中也（釜山）

○攝心會

妙心寺派別院にては五日より九日に至る毎午後六時半より拾一月例攝心會を開催する由

○和田家の披露宴

和田常市氏嗣子俊一氏は山口氏夫妻の媒酌にて德田卯之助氏二女種子と婚約調ひ五日結婚式を擧げたるが七日午後花月に於て京城官民の主なる者を招待披露の宴を張る由

○死亡者 ＝が多い＝

大多數は惡性感冒に原因してゐる

◇一日　名餘

京城に於ける惡性感冒は昨今漸く衰勢に傾いて來たが患者數の減少と反對に死亡率は激增して居る、今京城府廳戶籍係の火葬埋葬使用許可原符によつて

◇死亡數 を檢するに毎年八九月の氣候變遷期の死亡者數は最も多數なる時に於てさへ一日の死亡內鮮人を合して二十名乃至三十名を超ゆることはない、それに去月末からは一日の死亡平均

◇五十餘 名に及び二倍強の死亡率を示して居る、去月卅日から本月四日迄の內鮮人死亡數を示せば三十日內地人四、鮮人四十六計五十、三十一日內地人九、鮮人四十八計五十七。一日內地人四、鮮人四十計四十四。二日內地人九、鮮人六十七計七十六。三日內地人五、鮮人四十一計四十六。四日內地人五、鮮人五十計五十五にして二日の如きは七十六名死亡者を出し優に平常の

◇三倍に 達して居る。而も之は龍山の死亡者を除外した數であるから龍山の死亡者を合すれば更に幾割かの數を增す筈である死亡者の大多數は今回の惡性感冒か或はそれが變症した

◇肺炎や 氣管支加答兒等によつて斃れて居るのに徵しても今回の感冒が如何に京城市民を惱ましたか窺はれる

灯ともし頃

△某勅任官曰く新聞で見ると官吏の細君が冬物の仕度に大いに奮闘するので吳服屋の景氣が好いと云ふことだがそれは過般發表された臨時手當の潤ひに原因して居るかどうか甚だ解釋に苦しむ△今度の臨時手當は既に給付された官廳もあるが總督府の如きはまだ給付して居ない、貰つたにせよ貰はないにしろ手當の金を當てにして買物ならば上等物が買へさうに思はれない△愈々冬期に入つて薪炭代は嵩む物價は一向下らぬ一割や二割の追加手當では少しも餘裕を生じないのみか、まだ〳〵下級官吏の生活狀態は窮迫して居ると思ふ△吳服屋の常客が會社員の細君の間違ひであれば結構だが果して官吏の細君連が臺所の仕事を後廻しにして裝に腐心して居るとすればあまり芳ばしい話でもないれ

○連絡船發著割

日 / 發 午前 午後 / 著 午前 午後

十八 博愛 新羅 新羅 對馬
十九 對馬 高麗 高麗 博愛
三十 博愛 新羅 新羅 對馬
廿一 對馬 高麗 高麗 博愛

船名 高麗丸 新羅丸 壹岐丸 [illegible]

二等（六十八名）小迫田鄕次郎、河口士満吉、吉増租助、藤田千代太郎、陳永松三郎、同上[illegible] [illegible]

仁川期米

[illegible]

仁川米豆取引

五日の一月限 [illegible]

日本勸業銀行構內　債券相場　勸業債券月報社

十一月四日迄　十一月一日抽籤くじ參照　御諮詢に應じ規定書御申越次第進呈

大券	値仰
[illegible]	[illegible]

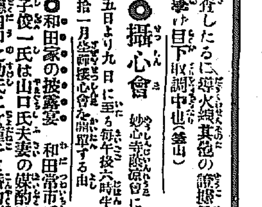
◎御買入送料十二錢多額御買は御相談債券便覽（定價十錢）時報（一號外二錢）一年號外共一圓廿四錢　月報三錢一年廿四錢

福岡市博多下呉服町　電話一九五五・一九五四　振替福岡五〇番　東京市麴町區內山下町　振替東京十八番　福岡支店　本店

七十回新券 二千圓の くじ付 一日初抽くじ 十一月 いよ〳〵 即賣 通一十圓十五錢 送料十錢 制拂賣 五回拂込 最初金 其他 十二回 乞御照會

特約店 日用雜貨類 各製造業者聯合直賣卸始 各地に設置時價の半値乃至三分の一にて日用品を供給す地方商人活躍この好機來る返券入照會次第案內書進呈 東京本鄕湯島六の十 東京日用雜貨製造組合 株式會社

子を持つ親達よ　小兒專門 解熱新藥 オイン

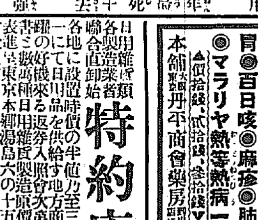


こどもの大敵は…かぜネツ!!! 今が一番注意の時!!! 可愛子にはオインを用よ、小供には小兒專門の藥でなければ危險也。オインの偉効 ◎かぜ◎ねつ◎流行性感冒◎百日咳◎痲疹◎肺炎◎マラリヤ熱等熱病一切　▲價拾錢、貳拾錢、參拾錢▼　本舖 大阪東區 丹平商會藥房

針 油 部分品 卸小賣 確實低廉 修繕 營業案內進呈 御用ノ方ハ御一報次第參上　ミシン　京城鍾路二ノ二七 電話三三八番 楠商店

天下一品 增本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九番

牛等三兄弟ハ所有ノ不動產ヲ賣却スルモ共者ニ對シ何等ノ取得ナシ恐ルニ及バス云々ニ付國人ヲ欺カル勿レ 前任水原八間面佐助里現住京城府洞二八五 金舜鎬 金基錫白



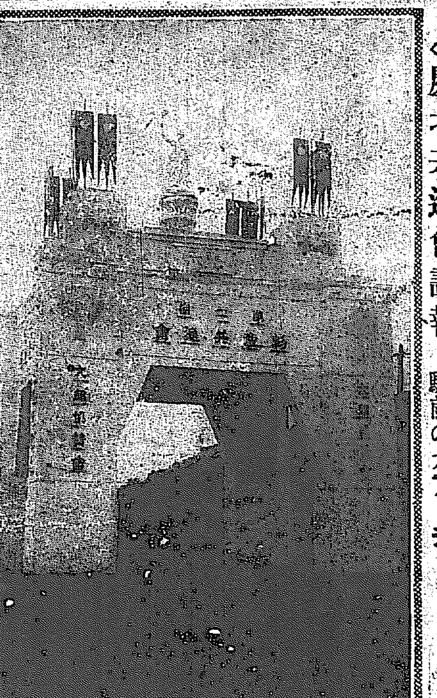
大學目藥 サスガは大學 見事に治る

大黃金町長橋町入口 田村質店 電話一九九一 歡迎 商品擔保便利取扱

亡父今田俊一葬儀の節は御多用中遠路態々御會葬被成下難有御禮申上候
男 吉一郎
同 八
外親戚一同

父熊太郎儀豫て病氣の處養生不相叶五日午前一時四十五分死亡此段生前知己諸彦に謹告仕候
追而葬式の儀は七日午後四時自宅出棺南山町本願寺に於て執行可致候
大正十一年十一月五日
男 安達康治
親族總代 鹿野鎌吉
北井清次郎
奥田貞次郎
田中友吉
友人總代 天日常次郎
北村貞太郎

◎慶北共進會畫報—驛前の大アーチ



西伯利奇話（シベリアきわ）

同胞の溫情…日本贔負の領事
何を買つても高いこと驚く許
仁丹二粒が十哥…東亞煙草

親切なイルクツク在留の日本人

イルクツク市には三百餘の邦人が在留してゐたが革命騷ぎ以來存足立ち本年の三四月までに僅四十七人を殘して（其中に婦人が三人ある）悉く引揚げて了つた、イルクツクの邦人に就いて特筆大書しなければならぬのは、當市の邦人は同胞を愛する念が强くて若し上（イルクツク以西）の方に行く邦人があれば引止めて、手壺を探して在留させるやうにする、漂浪の旅にある者があれば

一月でも二月でも自宅に寄宿させ

職業に就かせてやる其の親切さは到底他地方では見られないこと、記者が厄介になつた駒田氏方などでも、物資缺乏の折柄にも拘はらず、長途の旅行を犒ふためとて到れり盡せりの歡待をして呉れた上出發の日は汽車中での食糧にとて暖かいパンの包みさへも贈られた遠い困難の旅先で同胞から眞實の籠つた同情を受けるこそは嬉しいものである、記者は改めて紙上で感謝の意を表する、イ市で邦人に關聯して

もう一つ特記すべきは

伊太利領事ドンオテロ氏である記者は京城出發の際に小田榮氏から是非會つて見るやうにと紹介狀を貰つて行つたが、目の廻るやうな忙しさで、殘念乍ら面會する機會が無かつた、同氏は大の日本贔屓で日本人の父とまで敬慕されたへである、日本人民會も同氏の肝煎りで露國官憲から認められ、天長節の祝賀會も日本人と一緒になつて祝ひ、其他日本人が官憲への交渉が面倒になると必ず仲に入つて圓滿に解決して呉れるなど徹頭徹尾日本贔屓で立つてゐる

極端な物資窮乏

マツチの小箱が十一錢で市中日用雜貨類や食糧品衣類等は昨年過激派が沒收掠奪を逞しうしてから商店の庫にも店頭にも全く無くなつて市民は金を持つて居り乍ら物資の供給を受ける事が出來ない有樣である、最近秩序や恢復した爲め燐寸、石油、蠟燭、其他必需品は邦々輸入されつゝあるがそれでも、燐寸十個入一箱七留（日貨一圓十錢位）砂糖百目一斤十五留乃至十七留、尙東亞會社製のゴールドヘルメツトが日本貨の二十七八錢する程であるから其他は推して知る可しで、停車場などに降りると立派な紳士が、記者の毛布や靴を指して『幾程か』と尋ね、是非賣つて呉れぬかと懇請する者も珍らしくない

日本の製品で到處

で見受けるのは東亞煙草會社製造のゴールドヘルメツト、ハネービー、二號、百圓等で煙草だけは重に支那商人の手に依つて如何なる奥地にまでも侵入してゐるのには驚かされた煙草に次いで仁丹の名は子供にまでも知られてゐて我々日本人の顏を見ると

『仁丹を下さい』

と手を出し、勞働者などでも一粒か二粒與へると十哥の紙幣を出して取つて呉れと言ふ露國人や支那人の間には起死回生の藥のやうに愛用されてゐるらしいが目下の輸入が杜絶してゐるらしい只

遺憾なのは東亞煙草

の包裝が總て露字と英語で書いてあるので、露西亞人の間に日本製なる事が知られて居らない事で、記者は嘗て琿春の朝鮮人視察團が京城觀光の際東亞會社で我々はワンダーを獨逸と信じてゐた、朝鮮製である事を知らずに喫んで居た事を殘念に思うて躊躇一番して社員の頭を掻かしめた事を知つてるので、今西伯利で日本製品が毫も日本製品らしからぬのを見て或意味に於て日本商人の商賈に拙劣なる事を感ぜざるを得なかつた（イルクツクにて早川發）

◎滿洲殖邊銀行 紙幣印刷の悶著

吉林及び黑龍殖邊銀行は去年より柴勤堂擁護して兩銀行の監理官となし北京總本店を離れて已に水火相容れざる地位に立ちたり其當時吉黑兩省の株主は相結束して自主獨立を宣布し內容の如何を問はず總本店との關係を脫離せる事は外間毫も漏らさざりし所なりしが前月吉林殖邊銀行長は上海に至り商務印書館と交渉し新式鈔票四百萬元を印刷すべく已に手附金二萬元を交付し商務印書館に對し印刷機全部を吉林に移し吉林に於て印刷されたき旨要求し來りたるを以て該館に於ては紙幣印刷の如きは最も愼重の態度を要するを以て吉林殖邊銀行に對し此事の有無を電明し來りたる所吉林殖邊よりは直ちに決して錯誤なきを覆電し來りたり然るに尙之を北京總本店に電照したる所本店は大いに怪しみ分行に於ては鈔票を印刷するの理由なし若し斯くの如き行動あらば其人を拘留し並に印刷を停止すべしと返電し來り可否大いに迷はざるべからざる域に至れり北京殖邊銀行總本店よりは吉林分行に對し分行に於ては直接鈔票を印刷するの權利を有せず何が故に勝手に斯の如きの行動を敢てするかと詰問甚だ急にして又一方吉林より上海に赴ける經理をも打電し事態甚だ容易ならざるものあるより吉黑兩行は總行に對し打電し昨年の冬間に於て已に總本店とは既に已に關係を斷絶し獨立を宣言せり然るを以て總本店の拘束を受くる理由なし速かに釋放されたしと强要せり右の如く雙方紛糾を來したる結果商務印書館に於ける損害甚だしきに至れるを以て該館は夫れが損害賠償を要求せりと云ふ其後の消息未だ知るに由なきも幣制統一を云爲する今日甚だ刮目に値すべき問題なりと云ふべし

◎奉天に於ける朝鮮の勢力と活動すべき餘地

奉天に於ける朝鮮の勢力は實に素晴らしいものである、第一朝鮮銀行東拓會社を初めとして大事業を爲さんとするものに朝鮮系統のを引いて居るものが甚だ多い商業會議所會頭が東拓支店長の吉野氏であり先日辭職したが奉天民會長は鮮銀支店長の小西氏であつた商業會議所の書記長は元平壤商業會議所に居た川上氏であり朝鮮人士の入込んで來て仕事をするには實に都合がよい譯である、然るに小資本家の即ち世の中に立つて一番澤山の仕事をする連中が遣つて來ないのは甚だ遺憾に思ふ、東拓の下仕事をすべき東省實業會社は如何なる方面に對しても放資し事業の開發に資して居る又其下に今度實業貿棧なるものが出來て凡ての貿賣仲介即ち問屋業を初めるこの事である、朝鮮の產物を滿洲へ入れべきものも相當あり滿洲の特產を朝鮮に移出すべきものも相當にある相互相連絡して大いに活動したら極めて有利な事であらう（奉天）

◎滿蒙毛織會社 ◆資本金一千萬圓にて◆

滿蒙所產の獸毛を利用し以て一の大絨會社を設立せんと企圖されつゝありし計畫は漸次進捗し今回滿蒙毛織株式會社として設立すべく來る四日石塚東拓總裁を委員長として滿洲側發起人會を開き七日公募を發表し十四日を以て株式申込みを締切り來月五日第一回拂込を爲し同二十四日に設立總會を開催すべき豫定なり既報の如く同會社資本金は一千萬圓にして五十圓株二十萬株となし其割當ては東拓會社五萬株、內地發起人九萬株、在滿日支人各一萬株、滿鐵會社二萬株、公募二萬株の豫定なるが奉天張作霖氏大いに右計畫に贊成し居るを以て相當の株を引受ける事となるべく然れば成立迄には株數の運動は免れざるべし同事業の如きは國家的事業なるを以て都督府に於ても大いに援護すべき要あり間補助給與する事となれり從つてこし年額十五萬圓宛成立後四箇年明年三月以降は事業に着手すると否とを論ぜず一株に對する六朱の配當を爲すべき可能力を有する次第なり然るを以て事業進捗せば一割乃至一割二分の配當を爲す事容易なるべしと云ふ同社は本社及び工場を奉天に設立し專ら滿蒙產の原毛を以て各種毛織物を製作する計畫なりと內地發起人の顏觸れ左の如し（東京側）服部金太郎、大橋新太郎、和田豐治、安田善三郎、馬越恭平、荒井泰治、茂木惣兵衛（大阪側）伊藤忠兵衛（大連側）相生由太郎、石本鏆太郎、加藤定吉外數氏

◎北滿の川魚 奉天は必ず高い豫想

北滿各河沼に於て產出する鯉、鮎、鯰、胖頭魚、白魚等は其の產額實に大したものであり而奉天へ移入される者のみにても年額約七百噸乃至八百噸の數に達し冬季に於ける支那側需用鮮魚の十中八九を供給して居る次第であるが本年は北滿の輸送が甚だ思はしくないからその移入の工合が如何であるかは今の處斷言出來ない目下奉天に於ける魚の如く當地は荷なき爲め漸次下落し北方は荷不足の爲め漸次騰貴して居る樣に北滿凍魚の產出は多くとも輸送が出來なかつたならば北方は廉く南方は甚だ高い相場を見るかも知れぬ併し從來冬季に入れば馬車輸送が開始され凡ての貨物は相當都合よく動くを例とするから凍魚の如きを馬車を以て移入して來る事は察するに難からざるも斯くては費用が嵩み到底引合はない事になるだらうと思ふ此の事情を綜合して考へて見るに本年冬季の凍魚の價格は決して廉なる事は望まれない次第である

◎滿鐵の月給 ◆初任者にても增給す◆

滿鐵會社では來る十二日より職員及び雇員の定期昇給を行ふ筈で本昇給期には本年度から實施すべき初任者の手當增額等に就いても夫々發表する筈とある又下級職員や同雇員に對しても相當の增給をなす事になつてゐる

滿鐵の初任手當

初任手當額は各專攻の學術或は學校に依つて違つてゐるけれども從來は大學法科大學卒業初任給は本俸三十八圓であつたのを今度は四十六圓に工科卒業初任給は四十二圓であつたのを五十二圓に

專門學校及高商

卒業者は三十一圓であつたのを三十八圓に私立大學二十八圓であつたのを三十四圓に增給し又普通商業同工業學校卒業者は雇員として日給九十錢であつたのを一圓に增給する筈であると（奉天）

◎奉天に製鐵所

鐵類の需用增加に伴ひ幾多の小製鐵所の設立を見又一方鐵工所等も漸次增加しつゝありと雖も奉天に於ては日支双方共未だ有力なる鐵工所の設立なく而も工場施設の必要を感ずるもの尠からず右に鑑み奉天有志間に鐵工廠を起し一般的鐵器工業を營まんとし資本金二十萬圓の株式會社奉天鐵工廠を新市街方面に建設すべく已に內容甚だ進捗せるが如し同計畫の中心は藤田九一郎氏にして最初は先づ小資本を以て經營し順次其規模を擴大する豫定にして晩くも本年內に會社成立を進め來春早々事業を開始すべき豫なりと

◎有卦に入つた滿洲の職人連 夜働けば十圓

滿洲では目前に結氷期を控へて工事を急ぐため大工でも左官でも一日稼げば三圓五十錢强になつて御負に夜働けば十圓位になるとは殆ど夢の樣な話である。併しモウ結氷になれば用がないのだから斯んな儲けも永くはないが何しろ職人は有卦に入つたものであると滿洲から歸つた人の話である

◎今度は苹果の買占 神戶の某商店

米の買占、炭の買占で內地は騷か朝鮮迄世人の怨府になつた有名な神戶某商店では今度は方角を變へて苹果に手を出し平壤の某果樹園を手先に使ひ西朝鮮一帶に渉り即ち黃州、平壤、鎭南浦附近數十箇所の農場より中手物約一萬箱、後手物約一萬箱（豫約）の買占を行ひ其の大半を鐵路若しくは汽船便にて神戶に直送し南洋方面に一箱約四圓八十錢位の價格にて賣却し亦其の一部分はハルビン浦鹽に積み出しつゝあり之がため西鮮に於ける苹果相場は非常の昂騰を示し一箱二圓五十錢內外のもの本年は現今に於て既に四圓四五十錢を唱へ居る始末にて冬季に入れば苹果は確かに一箱六七圓に暴騰すべき形勢にて之がため平壤、鎭南浦、兼二浦、新義州を初め京城に至る迄果物問屋連は大恐慌の體なり（兼二浦）

浮世のさまざま

▽▲金剛山の奥には盜伐每年甚だしくなり水源爲に年々涸渇し又重石の盜掘盛也とは困つたもの

▽▲明太魚の回游季に入り產卵の爲北鮮沿岸に群游し來る十日より約十日間が盛漁季なりといふ

▽▲豆滿江の琿春川にて鮭の漁獲多く試に大阪へ仕向けたるに案外の好評にて將來有望ならんと

▽▲鬼樓主 元山遊廓貸座敷吾妻樓主佐藤はつ（三八）は抱娼妓の病中無理に客を取らせし爲拘留五日

台所の日々

◆鰺採茄子酢浸し◆ 鰺の頭を落し腹をあけ腸を除き三枚に下ろし少し强めに鹽をふり三十分程してからざつと水洗ひし布巾で水氣を拭ひ酢につけます三十分程したら皮を剥ぎ表面がくはせて來ましたら取出し長さ五分位づつに切ります茄子は新鮮なるを撰び其の儘縱に二つに切り更に縱に一分づつの薄さに切り鉢に入れて鹽をふりかけ輕く揉んで灰汁を拔きしなさして洗ひ堅く搾り鰺と一所に混ぜ酢二勺醬油一勺の割合で合せた水三杯酢をかけて皿に盛ります

[illegible]

祝共進會開催 銃砲火藥並ニ和洋雜貨商 大邱東城町 丸島商店 電話三〇三番

祝共進會開催 金泉金融組合 理事 白幡準三

祝共進會開催 大邱南龍岡町 辯護士 武尾禎藏 電話一三八番

祝共進會開催 大邱南龍岡町 辯護士 岩元三志 電話四一二番

祝共進會開催 朝鮮殖產銀行 金泉支店

祝共進會開催 文武官制服制帽 製造並ニ修繕 富屋商店 大邱府上町通

祝共進會開催 藤繩文順

祝共進會開催 大邱府東門町 辯護士 高橋四郎 電話六六二番

祝共進會開催 大邱府元町 院主 江崎恒人 江崎醫院 電話一五番

祝共進會開催 大邱府本町一丁目 院主 醫學士 市田次郎 市田醫院 電話七二五番

祝共進會開催 輸出入貿商 倭館驛 松原洋行

祝共進會開催 大邱十二間道路（大邱驛前） 山中洋服店 同 玉突場 電話三五八番

祝共進會開催 專賣特許（製繩機 一四八三四號）（製莚機 一四五六五號） 船津式繩莚機械製造元 船津商店 大邱府東城町二丁目移轉

祝共進會開催 山陰道產業株式會社 農事經營 金融業 金泉支店

祝共進會開催 大邱運送業組合

祝共進會開催 大邱旅館組合

祝共進會開催 千代田洋行 自轉車部 千代田洋行 鑿井部 大邱府上町通 電話四二五番

祝共進會開催 大邱料理屋組合 大邱藝妓券番

祝共進會開催 大邱府大鳳町 片倉組大邱製絲所

祝共進會開催

代表者杉原新吉

營業種目 營林廠木材特約販賣 煉瓦製造販賣 セメント石灰其他建築材料 製材業

朝鮮大邱府元町貳丁目 合資會社杉原商店 電話長一六一番・振替京城九二二番

祝共進會開催 大邱府東雲町 朝鮮製絲建築事務所

商況

東京株式電

四日後場 先限引値

東株	一七八、三〇
同新	一四三、六〇
滿鐵	九七、七〇
郵船新	一七八、六〇
拓殖	[illegible]
鐘紡	三三〇、一

東京現株中値

四日 朝鮮銀行	一五二、〇〇
同新	一七二、〇〇
南滿鐵道	一三四、五〇
同第一新株	一九〇、〇〇
同第二新株	五八、〇〇
南滿製糖	一二〇、〇〇
朝鮮製粉	一二〇、〇〇
滿洲製粉	八一、〇〇
京城電氣	五〇、〇〇
朝鮮瓦斯	二〇、〇〇

東京期米特電

▲前場 休日前氣迷の氣先天候の中分無きに當人氣旺盛なりし地場派の買ひを共に北國筋地より五十一丁安に寄付き北國九錢さ筋の手揃買に四錢の賣れ十九錢の高値に散合したり
▲後場 前場好感の亞氣先各地手堅き立たる二錢さ上放れ五十二錢を收め五十二錢に迄押し一派の賣物に入れし再び五十九錢と樅合

四日後場 高値	三三、五九
安値	三三、〇九
止め	三三、五九

大阪株式特電

五日前場		
四日後場 宇治川水	五四、〇〇	
東京電燈	五四、〇〇	
大阪商船	五四、〇〇	
東洋紡績	五四、〇〇	五四、〇〇
鐘淵紡績	五四、〇〇	
日本綿花	五四、〇〇	
東京株式	[illegible]	
大阪株式	[illegible]	

五日前場 三十三圓三十九錢

大阪三品特電

五日前場 十一月限	三六一、五〇
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]
二月限	[illegible]
四月限	三三二、九〇

大阪期米特電

▲前場 天候の回復と地場軟調の買物に三圓丁度二十錢管に寄付きたるが買方の手仕舞賣方一部の手筋に地場賣物湊へ三十一錢より止は途に三十八錢と昂騰して散合したり
▲後場 硬軟兩派の意氣張り居り兵隊の裡に各地の手堅き仕舞と知て四十錢と二錢高に寄付きしも甚だ高値に殘して踏みたるか

兵庫期米特電

▲前場 休日明の場面は頗る軟調株式筋三品筋に賣唱せし買方一部の利喰に三十一錢と下押し二錢と一般に散合したり
▲後場 商内閑散にて砂糖株の減切り手堅き株は島米株ニ圓十五錢高の減其他雜株も手堅く指定株は新二圓九十錢高十錢高新二圓二十錢高に散合せり
▲後場 賣らず買はずの人氣の相場は活氣無く諸株一高一低の裡に小堅き保合を呈したるが指定株は比較的頭重く鼓もさ動搖を持續し居れり

四日後場 寄付	三三、五五
高値	三三、六九
安値	三三、五五
止め	三三、六〇

下關期米特電

四日後場 正米前場勢力盛況

	當限	中限	先限
寄付	三三、八六	三三、九五	三三、九九
高値	三三、八六	三三、九五	三三、九九
安値	三三、八六	三三、六五	三三、六九
止め	三三、八〇	三三、六五	三三、七

雜報

●三品小戻す

三品は土國屈服以來の休戰氣運等により觀局觀の外米相の暴落等にて前週來人氣悪化し崩れ垂れしが今前場一當限三百六十一圓五十錢先三十二圓九十錢と前日低場より幾分引戻し氣配となりたり綿絲は三節先物十四圓五十錢と前日同樣の入電なるも大勢何となく面白からず當綿布市況は入荷薄の爲め相變らず保合姿なるも何れは一波瀾の期あるべし

●正米小弛む

▲正米 筋の再び買進へ濃度となりたる上出廻り又稍々多く昨來氣配幾分軟化したる處先今は雨天の爲め商內一層捗取らず賣人の折合ひ來るに連れ今明は買易き方にて氣配

安唱一二十錢方

もなり

●製粉相場暴落

商世紀乘薄にて漸く小往來を繼續せし製粉は廿日後賣方大上の出動に依り氣配依然軟調に陷り辨天十二限共五圓五錢さ八錢方下押したるが祭日明けの一日には買方の踏腕も共に見越く氣配益々惡化の途を辿り辨天十二限四圓九十五錢と十二限四十七錢遂に墜落を演出する事に至り越して二日午前中も引續き軟勢が募り辨天十二限は遂に八十二錢まで暴落したるも此處迄を抱込み三限四圓八十五錢方の引返しを見るに至れり去れども市場の人氣は何は不良の模樣なれば目先幾分の引返しを見たる後又々押しを演ずるには非ざるかと而して廿日の市場は前日四限九十一錢より八十五錢辨天十二限四圓八十八錢さ十二限一十二限共安値五圓三錢より四十錢辨天十一限五圓三錢より四圓九十五錢同十二限九十五錢上四圓九十七錢同十二限四圓四十六錢より三錢さにて十四袋出來高を示したり

●内地砂糖市況

分蜜糖先々は先月二十八日精糖二十一限二十一圓七十五錢新糖三四限二十七圓と最近の高値より七八十錢方暴落せるが共後新糖は二十一圓八九十錢と押し返せし以來小市往來の成行にて二日午前中の市況も昂二十一圓八十錢新十六圓八九十錢と引續き小凡の商調を繼續せり而して現物は先月末物の暴落以來殊に消化方面より下押しに依り支那は利益方面へ輸出出來る爲め內地間は自然供給不足の狀態に陷れるより分蜜糖の眺め乍ら在外

●臺灣赤糖

船一地成ばかりの臺灣赤糖は當地着査定に去月三十日に終了せるも品精れの爲さて悉く消化し盡されて殘品少く且つ二番船の査定終了期未定の事とて相場は兎角下値り風情なり

●毛斯綸は氣迷

諸相關念節前に賣買双方共見送り風情なりし本品は鼓東西兩市場とも綿糸の大崩落を受けて益々低迷ひの度を加へ商內一向出來せず無味閑散の成行なるが賣人が現物を投げに安値を呼ぶる爲め市場は存外下盛り風情も向賣人氣迷ひて筋百番三千番共現物八十七八錢先物八十七錢見當の模樣なり

●木炭先安乎

昨今農閑期にて一日平均四千五百俵位の入荷に過ぎざるも晚夏以來薬人筋の思惑買盛んなりし揚句とて市中の荷動きは失れ丈け減殺さるゝ際にて此度入荷増般の制にて相場の崩りも利かず

十五錢高の邊に行止

まり小賣値は根炭の一俵一時より漸く四十錢か昂へられ居れり併し思惑買に對する世評の喧しき折柄薬人筋は勿論玄人筋と雖之を眞にする向の如く必需商を以て上當地生産品大部分なる當品は在來の該品大部分なるに原料品の少なからざるを取引し得らるゝより農後の新期に雖

各地商況

◎大邱米況 四日

▲正米朝(合内) 地回米は大勢の先三十三圓丁度兵庫三十三圓三十九錢と二十丁方低落の入報等にて當地正米は淡き米賣物ありの軟調にて極手薄にて小口物精米筋に買取らるゝ外移出向は手廻らず古米とても安値中白非々盛よりの立ても商内は何分不足の氣配のみ位のもの共出来物三百俵個は悉く禾本の米を示して當地米極は三十三圓五十、見當其他の相場値は左の如し

古在	米極	三一、〇〇
安	中白米 未検	三一、五〇
新米	中白米 未検	三一、五〇
神方	未検	三〇、〇〇
同		三〇、三〇

釜山穀物市場 三日

▲新米弱保合出 廻りも壓穀の如く乏しく昨年は紅稲へざる事とて新市場さも殘物乏しからさへも何分目先き貴力面へ可成りの行り過ぎて市況不振にはあらざれど何分目先き懸念して出荷を控へ居る事さて大勢は下押して免かれざる人氣は例の地場當用筋も相當に買進み來るに一二輪出筋の買戻しもあり前日に比し稍堅調に於て先き買進み來り二輪出筋の買戻しもあり前日に比し稍堅調には二三十錢方も昂騰せる物ありと一二輪出筋の買入れにより相場と呈したるより相場を呈したるより相場は小口非ず居ても今朝市場に至り買行きは相望み來る二輪出筋補積補充とし四日の可成り大口買ひも現はれたる等にて活況を呈したるもありし一般氣配は弱き模樣にて商値は一可は買進まざるより品物によりて此處に於て又々に上下等に差ありしが下落せる品物もあり三四十錢方下落せる品物も多數は大勢保合値にて買はれたる品物なく保合値にて買はれたる品物もあるが數口は先つ平均して弱保合の商状にて彼れ是れ三千個程の商內出來せり

▲古米下落 本品は越冬て見るべき物なき時期が時期の事さて見るべき物なく在庫品は相當に有るより賣物さしては乏しからざる方なれども何分良人氣之しく一向望み人なく只だ新米買不足により補充さしての小口買のみにて市況閑散なるより氣配

●依然強硬の成行

▲第三節當出來不申中七十五錢より六錢さ跳り八錢先〇四錢より六錢さ押し四錢引
▲第四節當 米不申中七十八錢より八錢と跳れ八錢先〇四錢より九錢と跳れ八錢先四錢より三錢さ上りし四錢引
▲第五節當出米不申中七十八錢より八十五錢と上押し四錢引先〇四錢より五錢と跳れ三錢さ押し四錢引を示して散行

倉庫 [illegible]

市場雜觀

▲前場當出來不申
▲中限〇二十七圓七十五錢〇七十五錢八節平均値七十七錢〇七十八錢五錢八節平均値七十七錢〇七十八錢八節平均値七十八錢〇
▲限〇二十六圓九十錢六錢八錢七錢八錢九錢三錢四錢平
▲昨後場は大阪前寄三十三圓丁度より二節十九錢三節不著四節二十六錢五節二十四錢六節二十一錢東京前節三十二錢兵庫三圓一錢四十四錢下の關三圓十一錢三十八錢跡未著にて當地當出來不申中二十七圓四十錢先二十六圓八十一錢さ十六錢高に寄付きたるも戻りして又賣物現はれ七十七錢さ上仲せしが押し八十錢と返し七十七錢さ一錢さ押し八十錢と返し七十七錢さ十四錢と押し九十三錢先七九錢の返に推移したるも當出來不申中五十五錢先四十錢よりて十五錢さ八錢仲より四錢引先八十十錢より十九錢先十九錢さ押八十十二錢四節當出來不申中六十錢先三十五錢引先八十七錢と十錢と押し二錢と押し七錢も跳て蹟りたるが賣物多く九十七錢と十一錢より九十錢と押し二錢と押し

仁川正米

▲糗の入津は來の際雨にてなし▲正米は別段變る模様なく合格品三十三圓見當不合格品三十八圓五十錢より八十錢にて少々商談行はれ居れり

物は依然堅當なれども商內には乏しからず小口七八十個程の商內にて保しく居れるが今朝市場は高値にて商し居れる程の商談にて保ちも面白からず一向買人なくされども無商內にもあらずの如きも弱の腰へ研究の狀にて引續き居る所に正米の需給も面白からず市況閑散なりて依然不振の内なる二限十七錢と利をば當地も別段賣物依然強硬の大勢の下に相場三四十錢り放ちて稍々下落して別項の如く昂騰し正米は別段變る模様なく合格品三十三圓見當不合格品三十八圓五十錢より八十錢にて少々商談行はれ居れり

生魚市場

京城日丸市場 本日は鯛・鰆鮪の外殆ど見るべきものなく從つて總數も多からず

五〇さわら三六ひらめ二四あなご一五さば一三あぢ一〇くろま一三〇かつを三こさこし二六たちうを一八かきさ一〇小物一三

仁川期米

五日前場(強硬)

▲第一節東京前寄三十三圓三十九錢と安入電にて當地當出米不申中二十七圓先二十六圓二十八錢五十五錢

圓九十錢と八錢に安寄付き大阪高唱に買物多く

〇三錢七十錢さ仲せしが高直は又々買物現はれ六十九錢さ押し〇二錢に引返り大保値を演じて引けり
▲第二節當出米不申中七十五錢より八十錢先〇五錢より八錢を買多く二錢さ押し三錢引

物多く割安の思買

▲市況は中限の顯强と正米界の底强き人氣を受けて東京安に寄りたるも大阪高移りし七圓迄に復活して强硬の成行を呈したるが要するに中限の如何に依り一經過は免れざる者ぐが如き形勢にて▲新市況發會に際しては五十錢迄も少したる中限は依然前に五十錢を割る商中なれしが相依り追随すべき所にて今後の鞘は不足に於て中限さすがに大衆を立たへ買ひ反しつゝあるも大阪市場の形勢に依り立ち戻る如き形勢なり

八十一錢の大鞘

附するに至つた今後の變動は何に依り更に鞘の擴大を見ろやも難計形勢である茲に先限つて中限高きか先限高きかと思

▲大阪後場一節當四十錢中七十六錢先四十錢二節三十一錢三節三十三圓三十八錢
▲大阪後場五節當四十錢中三十錢先七十錢八錢七十一錢先三十一錢
▲昨後東京三十錢四節三十一錢八錢中七十錢先十五錢
▲天候夜來降雨今朝東京前寄三十三圓三十九錢の入電にて當地當限出來不申中二十七圓五十五錢と出來不申中二十七圓五十五錢より十六圓九十錢さ下寄したるも大阪前寄と仲し九十錢と昂騰し四錢引先二十錢先二十四錢より高移りに買物現はれ七十錢上げたるも戻りて一錢さ下仲し押し更に七圓〇一錢と共に九十錢さ又買物多く六圓九十七錢ざさ九十錢先ざ八圓

仁川米豆取引所

五日の一月限

前場		
寄付	二十六圓九	十錢
高値	二十七圓メ	三錢
安値	二十七圓メ	八錢
止め	二十六圓九	十錢
出來高		

平均値段			
四日後場	前日さの比		
一節	二十七圓丁	四錢	二六、八
二節	二十七圓メ	三錢	二六、九〇
三節	二十七圓メ	四錢	二六、九八
四節	二十七圓メ	四錢	二七、八〇
五節	二十六圓九		二七、七

一〇五〇 三〇高 一〇高 高 高 高

五十錢 安 月二十一圓

日渡二十九圓見當を唱へ

居れり是を以て果して正鵠を得たる者とは言ひ得ざるも新相場より見て定期は多少割安を戰せられつゝありとの說なるか今後の成行如何なるべき

中限は止る所を知らざる勢ひにて以上中限の强硬より人氣も自然買氣と助長する者ありし乍ら本年の新米が如何なる程度に迄低落すべきや是當面の問題であるが此節正米の先約定値段を木月末渡しに三十一圓又三十圓台にて取引は至るに至れり果して共後何れが當を得たる者なるかは後日に當ぜんのみ

大阪財界便り

▲歐洲の空に講和風頻りに吹くは遂に事業熱成金熱の肝んたるを淡いならしめつゝあり而して殊に彩を濃厚ならしめつゝある手腕銀行業者の警戒の漸く色の手腕と沈靜的財界も之に依るの兆に企業界は一層の打擊を受く事と觀ぜらるゝその一例と見るべきは金融緩慢なりし事業界の三年間殆んど顧みられざりし農工銀行の長期資金が昨今に至りて非常に要ある至りたる事なり
▲金融緩慢に於ける勤業銀行農工銀行等長期資金の機關は此種の需要なきに苦しむ能さは現に大阪農工銀行の如き金利の低減に對する代理貸付の如き薄利を措ても全然拋棄して專ら社債によりて得たる資金の運用に苦心したりしも向大いに額の進資を抱へし一方銀代理貸付絶せる爲め前途を開始し同に不動產貸附を目的とせる親子關係の二銀行が端なくも競爭するの餘儀なきに立到りしが▲給しながら之れも一時の變態たる程なり
▲平和克服の近きに到り事業界を見るに頓に一轉の新需要に向ひて之等の銀行は凡ゆる方法に依つて頗る下落する悲惨の期にあらんも其營業を經續せしめたり
▲事業界を見るに一兩年前二十割の配當を爲して世間を驚かせしめたる明治製煉會社の如き不期は前期より十八割の配當となり更に三割減の配當を爲したる大阪製鐵會社の如き損失を發表せる百三十餘萬圓の缺損を驚かしたる如き亦寫眞の劇しき會社の前途に至りては決して樂觀を容さず一時旺盛を極めたる造船製煉業も今後に於ける成績なく或は赤字を生ずべし
▲一般各會社とも今期成績は良好なる方にて前期通り多くは配當を減殺せずに經營せんと努め居れり
▲砂糖株然り化學工業株亦然り共中にて戰後の不振時代に備ふべく其が爲めに特に配當を減じて積立金を增加するものもあるべき多年の基礎を固め出さんことを期するもの▲戰後の不振時代に備ふるも多年の基礎は固めて除く大部分の會社は斯の如き餘裕なく辛ぶじて配當を維持し居れり中にて悲慘なるは本年發布の自動車保護法案を利用せんとして目論まれたる各種自動車會社にて五千萬圓以外に陸軍側指定の自動車を新造出來ぬ者を計畫したる當事者は其の新方面を豫想して會社を計畫したるものさ
▲平和克服の近きに至りて新設會社の今後は除程の離闘あるべく好況時代の隆盛なりし丈け悲況に於て共反動甚しかるべしとは一般の觀測なり明年の大阪財界は洵に澹たるべきかと考へらる……十一月二日發

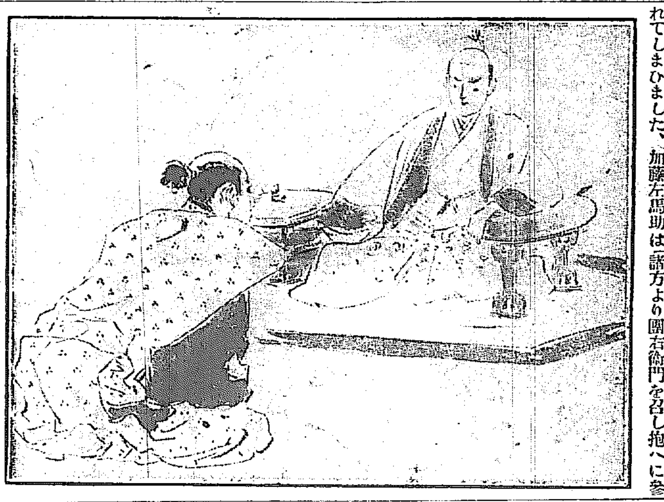
卅六番角力

毛谷村六助 十四席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

左馬之助嘉明は島津修理大夫の人數を引受け稍暫く戰つて居りましたが、時分を計り腰に附けたる法螺貝を取つてブーと吹き鳴らしたら是を合圖に塙團右衛門は敵の中より討つて出で島津勢へ横槍を入れて前後より討つべき手筈でありましたが、幾ら貝を吹いても出て來ない、團右衛門は出て來ない筈だ、先刻伊吹山の本多忠勝の手に附いて浮田秀家に驅け向つて居るから出て來ない譯だ、是が爲に手違ひを生じて左馬助も已に討死を爲すべき處を、福島、黒田の助けを受けて漸く危きを免れた、然し此の關ケ原の戰ひは僅半日にして關東方の大勝利となつて西軍は悉く破れてしまひました、加藤左馬助は塙團右衛門を招で 嘉『コレ團右衛門、何故其方は主人の申し付けに背く、汝が出ざる爲に我散々に打負け福島黒田の助けなくんば討死をもすべき處であつた、然て其方は何處へ參つたか 團『暫く待つて居りましたが合圖がございません故本多忠勝の手に屬して浮田の本陣へ討入りました 嘉『主人を捨て他人を助けるといふ事があるか 團『激しい戰ひにござれば一時半時を爭ふ此處を攻めて彼處を救ふと云ふ考へを以て浮田の本陣へ討入りました 嘉『要らざることをいたす奴じや、其方如き者は匹夫の勇と申して槍を取つて働くとは出來ようが、采配を採つて人數を指揮して勝敗を圖ることは出來ない、謂はゞ大將の器の無いものじや』團右衛門は憤然として 團『匹夫の勇とはお情なきお言葉、斯程にまで申さるゝ上はお見限りを蒙りたる拙者、今日限りお暇を頂戴いたします 嘉『主へ對つて過言を申す怪い奴早々出て參れ』團右衛門は其儘我居敷へ戻ると家財を取片付け立退きます際に、何やら白壁へ落書をして出て行く、左馬助は、こは云ふものゝよもや團右衛門は立退きは致すまい、樣子を見て參れと家來に申付けました故早速來て見ると此の始末、白壁に書いてあつたのは

高飛天地一閑鴻遂江南野水不留

としてあつた、之を聞いて左馬助は増々怒つて團右衛門の武家奉公を構ひました、かかるとこは知らず團右衛門、加藤家ばかり日の照る譯ではない、三千石や五千石ならば網の目から手の出る樣に抱へ手はあると威張つて居る、成る程諸方より團右衛門を召し抱へに參りまする、池田より一萬石、淺野より一萬石、結城秀康より一萬五千石、細川家より二萬石といふ樣な譯で使者は來たが間もなく沙汰止みとなつた、團右衛門は不思議に思ひ何うした譯かと聞いて見ると、加藤左馬助より嚴しく拂合があつてそれが爲に沙汰止みとなつたと聞いて、イヤ團右衛門怒るまい事か、忌まく〜しい奴だ、何うしてくれようかと考へた末、結城三河守秀康公の屋敷へ參りお目通りを願ひ 團『久々にて麗しき御顔を拜し恐悦に存じまする 秀『團右衛門能く見られたな、其方が加藤家を浪人いたした由を聞いて當家へ召抱へたく存じ申し入れたる處、加藤家より苦情を申されて予も大きに迷惑をいたした、何とか折合をつけて立歸つては何うじや 團『一旦申し出した事を後へ返す左馬助でございません、又私と歸る所存はございません 團『少々お願ひがあつて出ましたが』 秀『何じや願ひとは 團『御前が御秘藏遊ばします小櫻の御乘馬を暫く拜借いたし度うございます 秀『宜い〜貸遣はす 團『有難き仕合せ』團右衛門は小櫻を借受けてそれに打乘り其處を立出て加藤左馬助の屋敷を指して參りました、結城三河守秀康よりの使者と馳れ込みました故早速門を開いて門内へ通して見ると、先頃當家を立退いた塙團右衛門でありますから皆々驚きました



京城 [illegible] 三〇

◎清州米價漸落

淸州市場に出穀する新古米は日々に數百石の出荷あるも一時は頗る突飛他殷三十八錢を稱へたるも漸次下落し目下石拔き上白三十四錢となれり殊に一般の作柄順調にして尙且鎮川方面には持米多く一人三四百石を藏するものさへありて同方面の在米潤澤なれば漸次下落を見るは疑ひなかるべし今や各地方共に人肩馬背により新古米の搬出盛んにして日々數瞬宛大田方面へ銷送しつゝあり

◎江界新安州間

自動車の運轉

京城杉市郞平より平北江界より平南新安州間の乘合自動車運轉の許可出願せし處此程諸種の調査終了したるを以て來る十日新安州に於て車體檢査を行ひ四日午後右間の試運轉を爲すべしと

◎正誤 前々號鈴木渡會社説明中鈴木遺族官とあるは小原農商工部長官の誤なり

十一月七日	九紫
舊十月四日	戊午
本命 六白	乾危 先勝

▲六白 傍若無人の言行なく身を愼むべし萬事控へ目にして吉方は吉乾の方向▲七赤 北の如き日方は開業八白 名弘求職出婚なし入籍の成行よろし萬吉▲八白 大損有日駆け居計る等▲九紫 氣のきかぬ爲め入學建築金件組合結婚萬吉物に係ばる日▲一白 不和の日紛議等に戰ひ控かべし新聞開店等は吉萬事新規手控の用を避けよ▲二黒 縁談は吉名弘求職上婚禮出船金件等よし▲三碧 婚禮等吉萬吉▲四綠 堅固人寄せ控らるべし新事有日開店新事手控▲四綠 不遜不遇の日なれば新事計目の方吉凶は建築求職金談婚禮萬吉物に協の日

牛乳

衛生的 新鮮 御用 岡野牧場 京城東四軒町 電話一〇六九番

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科

安部修三 安部醫院 京城永樂町二丁目金光教會隣 電話四一九番

演藝案内

本町五丁目 電話三三八 文樂座
▲悲劇 戀の罪 全八場 十一月五日より(十一回目) 伊井お新(二代目伊井)巡査近藤(軒)仲居お辰(女優移)軒(天野)主人辰藏(天野)芸者屋謁吉(山地)(月岡)洋

本町一丁目 電話一〇五〇 壽館
十一月五日午後六時開會(三十一號より) 伊賀之水月『續』 東洋軒雷右衛門 一行 東洋軒雷右衛門 五郎正宗傳『續』 桃中軒雲右衛門 佐馬大作『續』 竹川馬生 元祿武士 二席 雷右衛門 水戸公『續』

電話(晝間)二二六六 (夜間)二二六二 黄金館
大熱活劇(京城座出一手代理店)
十一月七日より 安達ヶ原三段目 紀念劇 山根領一日 義太夫節等の歌は 聯出齒切

▲大秘密 四卷
不思議の如き大秘密の事件は一第二回時代全十八篇
▲米騒動は起つた、つゝ先達つく各地の新聞に出る大本山の騒擾、新聞は意外の月琴に・・・不思議の紀の行動は各地の新聞記者・・・の懸念
▲新派悲劇 豪華の裡 四卷
事に其の大悲劇人は・・・悲劇全へ迫つて遂に自殺をした・・・父と子を抱いて投身す

本町三丁目 電話五七八番 壽座
大阪歌舞伎大一座 當る十一月五日午後四時より(初日) 前 壽式三番叟 雙鶴樂 伽羅先代萩 中 切天の網島 時雨の炬燵 紙屋治兵衛內の場

有樂館 電話(階下)三二〇五
早川演藝部直營 活動寫眞常設館 當る十一月一日より ユニヴアサル週報六十六號 ユニヴアサル會社特約 怪物屋敷 全二卷 ブルーバード特作品
◎人情劇 三人孤兒 全五卷
獨身の青年三人は五に親友で大學を共に生活して居たが戰爭にひとりが出征して大家の娘と共に引取手が無い孤兒を・・・

大正館 電話八七三 櫻井町 當る十一月二十五日より
◎本館創立七周年紀念特別大興行 伊達騷動 ロン島古蹟
◎大正館 四坊山 活劇 廿年の恨 全六卷
◎悲劇 伽羅先代萩 一座

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇〇番 當る十一月五日八日目 浪花節大會一行
◎七回 灰色の幽靈
東京人情話 義士傳 佐賀の夜櫻 紀之國屋文左衛門 塩原多助 樋口三郎 餘興(東京落語)

吉田備前 資 中軒如嶺 早川一 中軒菊春 桃中軒如風 桃中軒雲右衛門

MITSUWA GINSENG TABLETS.

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

人參を科學的に研究して之を錠劑とせる

◎ミツワ人參錠

定價 百錠入金五拾錢 五百錠入金貳圓 內地以外は郵税運賃を加ふ

主效 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、營養不良、精力減退

本劑は鎭靜、催眠、利尿、健胃、强壯等の諸作用を具ふるものにして其臨治的効用の大要を擧ぐれば、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー及び此等の疾患に發現する諸症候、即ち精神興奮、情意遲鈍、讀書計算不能、思考力判斷力記憶力減退、睡眠不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、遺精、陰萎等に對して偉効を呈し、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、之を急性並に慢性腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫其の他苦悶を除き、分娩前後及び結核、瘧疾、梅毒、神經病、胃腸病、子宮病、諸種傳染病等に因る貧血並に營養不良を恢復し、蒼白なりし皮膚をして强壯なる血色に變ぜしめ、視力を增進し、又精力減退、即ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し、頭腦を明晰にし、意氣を旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等の卓効を奏す

◎ミツワ人參錠適應諸症候

一、頭が重く或は痛く頭の內が朦朧とする人
一、眼の疲れ易い人
一、逆上せて茫乎となる人
一、眠らうとしても眠れぬ人
一、寢て凶い夢を見たりする人
一、些細の事を氣に懸ける人
一、何事にも怒り易い人
一、悲しい事も無いのに泣きたい人
一、精神の昂奮する人
一、何事にも悲觀して厭世的になる人
一、物事を深く考へる事の出來ぬ人
一、物事の理非判斷出來ぬ人
一、物事の記憶の不良い人
一、雜念頻りに起り專注の出來ぬ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、血の道に罹つて居る人
一、疲勞や遺精で悲觀する人
一、腎臟病に苦む人
一、產前產後又病後の衰弱を防ぎたい人
一、勉學をして直に疲れる人
一、勞働をして疲れ易い人
一、精神の疲勞を早く治したい人
一、筋骨の疲勞を速に癒したい人
一、精力を强くしたい人

MITSUWA COMPOUND GINSENG TABLETS.

MITSUWA COMPOUND GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .70 500 tablets ¥ 3.00

This new remedy, which contains Iodine and Bromine, is prepared from Ginseng an infallible remedy from ancient time to the pressent. As it contains Iodine, it is efficacious for aneurism, arteriosclerosis, apoplexy and other numerous heart diseases. It is also unrivalled for hysteria, nervous palpitation, vertigo, congestion of the brain and other nervous diseases, because Bromine is mixed with Ginseng, which has in itself the wonderful effects of sedateness.

人參を主藥とし之に沃度及臭素劑を配合せる

◎ミツワ複方人參錠

定價 百錠入金七拾錢 五百錠入金參圓 內地以外は郵税運賃を加ふ

(現品縮寫圖)

主效 動脈硬化、動脈瘤、腦溢血、神經性心悸亢進、心臟肥大、脂肪心、心臟內膜炎、腎臟炎、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、營養不良、精力減退、老衰

本劑は變質作用ある沃度加里を含有するが故に病的產物の吸收並に排泄を促し健全なる細胞を新生せしめ凡て血管壁に於ける石灰沈著を防ぎ、以て動脈硬化、動脈瘤、腦溢血及び前掲の心臟疾患に卓効を擧げ、又鎭靜劑として人參以外臭素加里を含有するが故に、中樞神經系に於ける知覺並に運動反射の興奮性を下降せしめ、神經系の過敏症就中神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、神經性心悸亢進に偉効を呈し、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血をも治し得べく、殊に人參の有する利尿、强壯等の諸作用に依り、腎臟炎に於ける尿異常、浮腫等を除き、營養不良並に貧血に應用すれば、皮膚蒼白、食慾缺如、筋肉疲倦、心窩苦悶等の諸徴を回復し、尙老衰を防ぎて能く精力を增進する等の著効を奏す。

◎ミツワ複方人參錠適應諸症候

一、心悸の亢ぶり易い人
一、心臟部の緊められるやうな人
一、心臟の亂れの苦しい人
一、心臟部の痛い人
一、心臟に故障のある人
一、呼吸の促つて苦しい人
一、胸內の苦しい人
一、中風の氣の人
一、半身不隨の人
一、中風を豫防したい人
一、神經の敏くなつて居る人
一、手足の冷ゆる人
一、水腫のある人
一、身體の倦怠い人
一、筋肉の萎縮んで居る人
一、皮膚の弛むで居る人
一、顏色の蒼褪めて居る人
一、痛風に惱む人
一、眩暈に苦む人
一、時々氣を失ふ人
一、元氣良く活動したい人
一、延命長壽を願ふ人
以上の他ミツワ人參錠を服むべき人は之を用ひて宜し

發賣品目錄御申越次第送呈 ミツワ石鹸本舗 東京日本橋區橘町 丸見屋商店

(每日新聞休刊無中年) 大正七年十一月六日 THE KEIJO NIPPO 第三千九百九十三號 (一)

京城日報

第五版

講和の基礎條件(五)

京城日報

七

米國大統領は又戰後に於ける永久的平和を確保せんがために國際聯盟なるものを唱道し、英國首相ロイド、ジョーヂ氏を始め、各國政治家大抵之に賛意を表し、今や啻ご世界の輿論ご爲れるのみならず、來るべき講和會議に於いて、十四ヶ條の一題目こして、各國委員の案上に提供せらるべきは疑ひを容れず。勿論國際聯盟こいひ、又軍備制限こいふ如き思想は決して今日に起りたるものにあらず。人類をして戰爭の慘禍より免れしめんこの努力は、有史以來屢次繰返され、戰前に於ける海牙平和會議の如き、亦此思潮の產み出せる片鱗たりしなり。而も當時に在りては今日提唱せらるゝ如き國際聯盟は畢竟理想的のものに止り、其の實行を期待するもの少かりしも、今回の大戰亂に遭遇し、戰禍の恐るべきことを眼前に經驗してより、永久の平和を求むるの念は、一層痛切ごなり、如何なる困難をも排し去りて、之れを實現せんこの希望を抱くに至れり。

成程國際聯盟に因りて永久の平和を維持し、從來國費の過半を投じたる軍備を撤去し得べくんば、人類の幸福、國家の好都合此上なかるべきも、米國大統領等が註文通り、甘く取運び得るや否やは、大なる疑問たらざるを得ず。好し幸ひにかゝる聯盟が一旦成立し得こするも、それが幾十年間支持し得るや、是れはた疑問の最たるものなり。

八

戰爭は慘禍の大なるものに相違なし、若し避け得べき道ありこせば、勉めて之に由るべきは當然なり、雖も、國際聯盟を以て、現在の穢土を化して極樂淨土こ化せんこするは、隨分不自然なる企圖こいはざるを得ず。何こなれば此の如き桎梏を設け、永遠に亘りて平和を强制するは、人類進化の定則に戾り、民族興亡盛衰の歷史を無視するものなるを以てなり。言を換て之をいへば、國際聯盟は一種の現狀維持强制にして、一千九百十四年までの世界歷史の變遷は之を認むるも、其後は一切之を認めず、永遠に恒久に一千九百十四年のまゝなれご强ゆるものたらずばあらず。かゝる桎梏は果して人間の甘受すべきものなりや否や。

九

吾人は平和を希求す、然れども自然に逆行せしめんこする桎梏を受くるを嫌ふ。英國又は米國の如き廣大なる領土を有し、既に滿腹なる國家こしては、現狀維持は大なる好都合、大なる利益に相違なしこ雖も、目下進展向上の途上に在るものにして、其の活動の中止を强制せらるゝに至りては、啻に堪ふべからざる所なり。動く勿れこいふは、畢竟死せよこいふに同じ。獨逸人は戰前に於いて揚言すらく『英國は飽滿せり、故に現狀維持を可こせんも吾等は尙ほ飢に苦む、故に英國の有ちる所を有せんこ欲す』こ。獨逸の此の野心は今回大戰爭の動機たるが、世界中、眼に飢に苦みつゝある國も可ぞ唯り獨逸に限らんや。故に全世界を擧げて盡く飽滿せしめたる後に至りての現狀維持ならば、何人も異議を挾むものなかるべきも、一方に滿腹充足のものあるこ共に、他方に飢ゑて死せんこする者のある現在世界に於て、現狀維持を以て行はるべからざるは、智者を俟つて後に知るべきこにあらず。さりこて全世界を飽滿せしむるの不可能なるは言葉を費すまでもなきこなれば、所謂國際聯盟なるものは、强者富者の空想的慾望に外ならずんば、弱者小者の姑息の斷念に外ならず。且夫國際聯盟を成立せしむるこ共に、各國の軍備を撤去すこいふが如き、議論こしては結構ならざるにあらざるも、之を譬ふるに人間相互に盜みを爲さざるの約束を結び、警察も無用なり、戶締も無用なり、刑法も亦無用の長物なりこいふに均しく、其痴寧ろ笑ふべきにあらずや。

對支借欵整理

大藏當局にては前內閣時代に豫備契約成立し若くは交涉繼續中に屬したる對支借款にして之れを整理すべきもの多きを思ひ、一般來所謂特殊銀行團たる興業、朝鮮、臺灣の三銀行代表者を屢々本省に招致し協議を重ね居れるが該借款中豫備契約成立せるも本契約の調印を了らざるものには(一)吉會鐵道借款(二)滿蒙四鐵道借款(三)濟順高徐二鐵道借款の三種あり先づ第一の吉會鐵道借款は去る六月十八日支那政府交通部こ我特殊銀行團この間に豫備契約の成立を告げ既に一千萬圓の前貸金を交付し該豫備契約調印後六箇月內に本契約を締結したる上同鐵道の財產及び收入を擔保させる支那政府五分利付金貨公債を本邦市場に發行し募集金を建設資金こして供給すべき旨を規定せるを以て最先に協議を遂ぐるの要ある所こす第二の滿蒙四鐵道借款は鐵道建設資金に充て濟順高徐二鐵道借款は世に山東鐵道こ稱し濟南順德間、高密徐州間の延長約四千六十哩の鐵道建設資金に當つるものにして共に九月二十七日豫備契約を成立せしめ各二千萬圓宛の前貸金を交附せるが爾後四箇月內に本契約を締結し吉會鐵道借款同樣金貨公債を發行し得たる資金を供給せんこする旨を規定し隨つて來春一月下旬迄に本約を締結し之れを實行するの必要を協定するの要あり而して建設資金は吉會鐵道の約五千萬圓滿蒙四鐵道の約一億五千圓、山東鐵道の約七千萬圓にて合計二億七千萬圓に達するが各建設を見たる後營業線こして收益を望み得べきは僅に山東鐵道のみ他の二鐵道に至りては多く期待し得ず殊に吉會鐵道の如き建設費頗る巨額を要するを以て若し別々に公債を發行せんには應募成績は非常の懸隔を生ずべく此邊大いに當局並に當業者の協議に待つ所あるに似たり(東京)

講和ご生絲界

某當業者談

朝鮮に於ける本年の夏秋蠶は二三の地方にて例年に比し成績不良の個所ありしも大體に於て昨年に對比すれば良好なりこ謂ふを得べし昨今

△內地繭絲市場 は例の米國に於ける絹織物生產制限令の發表により影響少からざる打擊を受け目下自然的に生產制限せられつゝあれば其影響の大なる割合に打擊の程度も比較的少なるべし想ふに昨年來米國政府の執り來れる石炭消費制限により事實機業工場に於ける

△石炭消費制限 により絹織物生產上各機業工場に於る絹織物の約三割を制限し居れりされば絹織物制限令により制限せらるゝ額の如きは極めて僅少にして其我邦に及ぼす影響の如きも今日にてはさまで重大ならざるべきに我神經過敏なる取引市場は一時生產制限の風聲鶴唳に驚倒し相場の低落を來したるも昨今の入電によれば絹織物生產制限令施行は事實に非ざる旨打消し居れり假りに之を事實こするも內地に於ける各製絲工場は

△絹織物生產額 制限の目的を達し居る矢先殊更對外貿易に至大の關係ある絹織物生產の制限原料生絲輸入制限を爲すが如き拙策を採用するよりも米國こしては寧ろ石炭消費制限なる婉曲無礙の妙策により間接に輸入制限を決行する方利益なるべし

諸種原料自給策の可否

某消息通談=昨今時局の影響を受けて世人動もすれば工業の獨立を說くが其の工業獨立こは原料機械資本技術等總ての點に就き他に依頼するこ無きに至りて始めて實現し得るのである先づ資本及び技術は不充分ながら最早他に仰ぐの要なしこするも

△機械の自給 を見る迄には非常なる研究努力を以てするも尙ほ多くの歲月を要すべく更に原料の獨立に至りては我が國情の下には殆んご不可能の問題ご云ふべきである時局以來各國共に戰時の必要に餘儀なくされ經濟上の自給自足主義が盛んに主張され夫々其の實行を見るに至り其の本國及び植民地よりの原料輸出を禁止し或は大いに制限して居る而して此の原料品の保護寺久策は戰時中のみならず戰後に於ても各國の採用する所こなるべきは今日既に

△各種の事情 に徵して明白こなつてる果して然りこすれば我國の如き原料品の供給を主こして海外に仰ぎ居たるものにありては將來製造工業の經營は極めて困難にして一國工業力の基礎や洵に薄弱危險なりこ云はざるを得ぬ茲に於てか近來朝野の間に頻りに原料品の自給自足の必要が唱道され日く染料藥品の自給、曰く鐵鋼の自給、曰く羊毛の自給、曰く何々ご諸種の原料自給方法を實行し又奬勵してる工業の獨立原料の自給は其の目的こする所は如何にも大切なるこで我國は當然其れに向つて進まねばならぬが戰時の自給自足經濟策は亦隨分無理の伴なつてるこごも認めねばならぬ今は

△原料自給政策 の可否を論ずるのが目的ではないけれごも極端なる原料自給方針は必ずしも國家經濟の大局より見て利益を來たすものではないされば原料の自給政策を樹立するに就ては冷靜なる判斷を以て經濟上總ての條件を比較研究した上で實行するにあらざれば到底成功する事は困難であらう鐵、棉花、羊毛、ゴム、石油、麻等を始め各種の原料品輸出に就き戰後歐米各國が其の本國及び植民地に於て制限を爲すべきは前述の如くであるから我國は一方に於いて可能なる程度の原料自給策を實行するこ共に

△今後は歐米 以外の地に原料品の供給を求むべきである即ち支那の如きは地理的關係より見るも其の原料供給力より謂ふも最も安全にして且つ利益多きことであらうこ信ずる

邂逅

佐々木雪

四 密談

『もし奧樣、福島の叔母樣が見えました』小間使のお里が襖の外から調べに餘念無いお染の[illegible]へた。

『福島の叔母樣』こお染は琴の手を止めて『一人で見えられたの』

『はい、お一人でございます』

『それぢやいつもの部室へ叮嚀に通して置いておくれ、妾直ぐお會ひしますからね』

お染はお里に命じながら調べかけた琴こ、譜本を元の通りにおさめて、鏡臺の前に跨つて急はしなう後れ髮を搔き上げた、そして、なり身を繕うこ叔母に逢ふべく其部室へ通つた。

お里の勸めた菓子を摘んだ儘、俯向き心地になつて或雜誌の口繪を見て居た叔母は、お染の座に著くのも知ら無かつた。

『まア叔母樣久し振だつたこご』お染が斯う挨拶するこ叔母は彈かれたやうに起きて

『まア〱、いつの間に來やつた、お里若い者は足の輕いこご、おゝ吃驚した』こ叔母はずいこ雜誌を押しやつて、皺だらけの顏に小さい淫んだ眼をお染に投げた。

『ほゝゝ、まア叔母樣もお丈夫で………』

『お、、、妾は丈夫ぢや、今の若い者見たやうに一寸位工合が惡うても、健康ぢや丈夫ぢやこ云うて、病の神も弱つて逃てつて了ふのぢや、妾は健康でぴん〱ぢや』

『それはなにより、人間は病患ひさへ無かつたらそれに越た悅びはありませんわ、ほんに叔母樣はお歲はお幾つやらだつたね』こお染はお里の汲んで勸めた茶を飲みながら尋ねた。

『年かいな、幾つ位に見ゆやうな』こ淀んだ眼が埋まる程笑つて『今年は九ぢや』

『ぢや叔母さん來年は八十……』

『はゝゝ、そんなに吃驚するもんぢやない、そなた位の時は中々こうやうにも思ふが、四十越ねばいつの間にやらこんなになる、そなたも七十八十になるの者直のこごぢや、精出して今の若い間に面白い目に逢つて置くがや、年取つては若い者から邪魔がられるだけのもんぢや』叔母は相變らず目を埋めて笑つて居た。

『最福ね、妾さう思ひますわ、二十歲迄はお正月の來るのが待ち遠しく〱、何故こんなに遲いのだらうこ思ひましたのが、此頃では何する間もなくお正月、やれ中元ぢやこ一年位は直き經つて了ひますの、最成にお里位の時が一番の樂な時ですわ』こお染もお里の顏に目を轉して云つた。

『まア奧樣』こお里も笑ふ、一座は一寸話が途切れた。

『時に』こ叔母は口を切つて『坊はごうした、妾は坊がごうしてゐるぞ見に來たのぢや』

『坊ですか』こお里は起つていつたが、やがて元の座に直つて『あの只今兄樣こ一所にお遊びに行らつしやつたこ見えて………』

『ね、兄樣こ一所に、兄樣こ何處の兄樣なんだね』こ目を圓うして額を突き出す。

『まア叔母さん』こお染は呆れたやうに『昨日の夕方叔母さんのお宅へも御知らせ爲た筈なんですのに……』

『お知らせ、何のお知らせを……』こ叔母は不審らしい目を向けた。

『叔母さん御存じないの』

『何の知らせぢや知らんがい、妾は昨夜は殿瀨の宅に厄介になつたんぢやが』

『それで』こお染ははじめて合點がいつたやうに頷いて『御存知ないのです、實はね叔母さん、いつか良人のがお話した事がある、それ庄吉さんね』

『ふん〱』こ叔母は俯向き心地で聞く

『その子が昨日漸う居所が知れて宅へ伴れて歸るこごになりましてね、やつぱり血を分けた仲は別こ見ねてい、坊が直馴れて昨夜も兄さんこ寢るこ云ふて、そりやもう大悅こび悅びますの』

『ふん』こ叔母は意外の目を瞑つた。

本紙定價 一箇月金五拾錢 廣告料 [illegible]
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 小川三之介
電話 [illegible]

大阪期米

大阪株式特電

仁川期米

仁川米豆取引

公告
一、大豆貳千袋
右十一月十一日午前十一時入札ス
希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ
京城府

在鮮中永らく御厄介に相成居候處都合に依り今回出發歸國仕り候間不取敢以紙上謹告旁々御禮申上候
十一月六日 古谷政次郎 博子

女事務員 名數入用
二十五歲以上高等女學校卒業相當の者本人來談アレ
京城黃金町 三巴京城支店

京日案內 番外

鮮人店員入用
國語に巧なる者自筆履歷書携帶至急本人來談
京城黃金町三丁目電車通 ドラツク商會

店員入用 廿歲以上廿五歲まで市內に確實なる保證人を要す
龍山元町二丁目 川本衣服店

看護婦募集 派出其他
京城諸町九 電話一貳八八 京城看護婦會

店員入用 廿歲前後に限る要保證人希望者本人乞來談
京城府外 マエノ商店

代診看護婦採用 希望者は履歷書送附あれ
京城本町 齋藤內科小兒科病院

店員入用 二十歲以下 希望者は直接本人來談ありたし
本町一丁目 電話一五六二 近藤金物店

外交集金人採用 府內地理に精通せる者要保證人
長谷川町 電話一一五二 京城殖產會

鍼灸術 貧困者は施療す
京城黃金町三丁目郵便所西隣三軒目 電話一〇八七番 大坪玄道

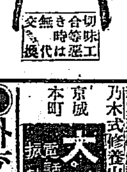
毛皮なめし並仕立 烏獸剝製標本類調製烏類毛皮貿易 手袋買入
京城本町二丁目 電話長二〇六五番 島毛皮商行

ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず
明治町 柔術道場

社員採用(朝鮮各地駐在出張) 先づ履歷書送れ其他面談
大連市常盤町 生命保險會社

職人募集 專門の事但し印物
京城明治町 電話二八五七番 二八六番 若宮染工場

素人の自家用こして理髮研究會長の發明になる最新式
新案特許 大正式バリカン
特價一組金貳圓五拾錢送料一組廿錢
即時注文に限り廣告の爲め替刄ネジバネ進呈
東京市本鄉區湯島六丁目十五番地 日本發明製作所 電話下谷二〇二 振替三四〇〇四〇番



右は精撰せる材料を以て入念に調製し一般御用に適なり御註文の際は靴の種類及足袋文數寸法詳細御通知被下度候代金は送料實費共御送付の上は現品直ちに發送可申上候
日野製靴店
ボックス皮製編上 一號金五圓 二號金六圓 三號金七圓 四號金八圓
ボックス皮製[illegible] 一號金五圓 二號金六圓 三號金七圓 四號金八圓
ボックス皮製深ゴム 一號金六圓 二號金七圓 三號金八圓 四號金九圓

安心の出來る靴

タオル印入 內外雜貨卸商
富澤本店 仁川宮町(電話三六番)
富澤支店 京城本町一丁目明治町通

新田帶革 朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行 京城南大門外 白神洋行支店
新田耐水調帶 ハフタ調帶
(定價表申込次第送呈)

最新刊
一事實行 山下信義著 一、五〇、八
科學概論 定價貳圓五十錢 送料十貳錢 八〇、六
大戰ご獨逸の經驗 五〇、四
四季俳句の作りやう 三〇、八
話し方教授 飯田 四八、六
加賀騷動(長篇文庫)
大正八年度 當用懷中日記 其他日記類到著
日露貿用會話 上田 九〇、四
ポケット日鮮語會話 七〇、四
日鮮雙解警察用語 五〇、四
新案獨學鮮語自在 五〇、四
乃木式修養 山田 四〇、四
京城本町 大阪屋號 電話六四番 二〇八六番 振替京城二五七番

外交社員募集
大藏大臣免許 月收五拾圓
日本動產信託株式會社 外に特別手當あり 希望者は履歷書身元證明書を左記へ急送あれ
東京神田區錦町三ノ三

現代碩學百科說林
題序 伯爵土方久元閣下
外務大臣男爵後藤新平 貴族院議員德富猪一郎
法學博士上杉愼吉 帝國大學教授芳賀矢一
法學博士井上辰九郎 理學博士岸上鎌吉 醫學博士三木謙三
男爵法學博士阪谷芳郎 理學博士三好學 文學博士井上哲次郎
法學博士添田壽一 工學博士寺野精一 法學博士井上友一
文學博士田中義成 工學博士山川義太郎 工學博士大河內正敏
文學博士吉田東伍 工學博士伊東忠太 工學博士平山信
文學博士萩野由之 農學博士鴨居武 東京高等工業學校長工學博士根岸政一
理學博士五島清太郎 醫學博士外山龜太郎 理學博士高橋堅
理學博士谷津直秀 醫學博士三宅秀 理學博士國枝元治
醫學博士大澤謙二 安田銀行 安田善次郎
廿七大家
△金融の話 △通貨の話 △軍艦の話 △電車の話 △建築の話 △遺傳の話 △道德の話 △天文の話
△瓦斯の話 △歷史の活用 △自動車の話 △飛行機の話 △新聞の話 △海中の動物 △牛物の起原 △動物の貯蓄
△國體ご政體の話 △牛物の進化 △三種の神器 △帝都の話 △歷史地理 △牛乳の話 △水力發電の話
△個人及家の話 △人間ご牛 △[illegible]
特價二圓五十錢(定價三圓) 總クロース裝 金文字入 菊判總紙數約千頁
大賣捌所 京城太平通二丁目 京城日報社代理部

米穀調製用具
は京城の戶田春藏本店へ
▼收獲に必要なるすべての器具を整へ居候
本店=京城南大門通
工場=京城北米倉町
▼品質を第一の標準こして製作致し居り候
各種 稻扱 唐箕 萬石 篩類

モーター
(半馬力以上三百馬力迄)
發電機 變壓器 配電盤 諸材料 在庫豐富
株式會社奧村電機商會總代理店
大阪市南區末吉橋通二丁目
株式會社安部幸兵衛商店大阪支店
機械電氣部
機械工作所
製品課目
陸舶用汽機、各種喞筒、鑛山用
肥料用諸機械、電氣捲揚機、
一般工作機械、傳導裝置一式
電話長船場 [illegible]

◇我委員會議列席

巴里來電＝日本委員は十一月一日聯合諸國の對獨休戰條件協議會に列席せり(東京電報)

◇獨共和國建設 豫言

伯林にて多數の群衆議會前に參集し獨帝の退位と共和國の創建とを要求せり獨立社會黨袖領リーブクネスヒトは民衆の時代は來れりと豫言せり又獨立社會黨員等はゾーリンゲンに大會を開催したるが席上ヂットマンは吾人は共和國を建設せざる可からずと述べたり(巴里電報)

◇獨帝退位要求

瑞西より來る諸報道は獨帝の大本營に向つて出發せるを逃亡なりとなせり最近報道に據れば獨逸政府は皇帝の退位を迫りつつあり獨帝は目下尙大本營に在るものの如くルーデンドルフは政府反對の首腦者なりとせらるれど政府は彼の騷擾發生を防ぐ可しと信ぜらる(倫敦電報)

◇墺社會黨首領 宣言

維也納よりの報道に據れば墺國社會黨首領は墺國新國民政府が全權力を收むるに至りたることを宣言せり國民會議の會場外にける群衆は歡呼を以て右の宣言を迎へ赤旗を打振れり(紐育電報)

◇臨時勞兵會組織

維也納發電＝臨時勞兵會議は維也納に於て組織されたり數千の警備者は戰線より歸來せる兵士の群と共に赤旗を押し立て市街を練り歩けり(紐育電報)

◇波蘭人對墺運動

墺國議會の波蘭議員は波蘭諸州と墺國波蘭人在住地方の合併及び其協約を完成する目的の爲め(墺國の東ガリチヤの首府)レンベルグに於て聯理委員會設置されたることを發表せり(アムステルダム電報)

◇クロアチア ダルマチア獨立宣言

アダラムよりの報道に據ればクロアチア議會はクロアチア スラヴォニア及びダルマチアの絕對的獨立を宣言せり(アムステルダム電報)

◇獨帝退位審議

獨紙フオッシエ、ツァイツングの報道に曰く獨逸軍事內閣は獨帝退位問題を審議中なるが軈てデルブルックの手を經て右退位取極め書類を獨帝に交附すべし(紐育電報)

◇匈牙利議會政權掌握

匈牙利國民會議長カロリー伯の通告に曰くブダペストに革命成立し國民議會は政權を掌握し且つ軍隊及び警察は完全に國民議會に於て之れを掌握せり人民は歡喜しつゝあり(紐育電報)

◇伊軍捕獲莫大

伊太利公報に曰く我軍は今回の攻擊に於て捕虜八萬大砲千六百門を得たり(倫敦電報)

◇東京商議遣米團の活動

山科東京商議派遣員一行はオレゴン州ポートランド市に向け出發せり一行は桑港にて加州大學を視察し日本聯合商業會議所の決議文を桑港商業會議所に交附したり決議の主意は支那の銀本位を改め金本位と爲すの運動を開始し度しと云ふものなるが山科氏は此決議文は米國各商業團體に交附す可く我等一行は國商業界有力者の贊成を經て此運動を起し米、日、支三國の本位貨幣を同基礎に置かん事を期す果して然るを得ば將來米國と東洋との商業關係を簡易にし東洋の大利源を開發するに最大手段たる可しと語れり(桑港電報)

◇勅令 政府は勅令の御裁可を經て即日より施行せるが中朝鮮關係のものは左の三件也(特電京城)

一、朝鮮總督府臨時土地調査局官制及び朝鮮總督府道地方土地調査委員會官制廢止の件

二、朝鮮總督府高等土地調査委員會官制中改正の件

三、朝鮮總督府高等土地調査委員會事務局、判事務官特別任用に關する件

◇陞叙 五日勅令を以て朝鮮總督府臨時土地調査局官制及び同府道土地調査委員會官制廢止に就き是迄に於ては右に關係せる諸官の功勞を錄し四日附け行賞の御沙汰有りたるが其の主なる者左の如し(東京特電)

從四位勳三等 鈴木穆
敍勳二等授瑞寶章 同 俵孫一

◇軍司令官通過 宇都宮軍司令官は五日午後七時落釜直ちに關釜聯絡船高麗丸にて東上せり(釜山特電)

◎兒島警務總長 兒島警務總長は五日午後六時十分着釜停車場ホテルに投じ同七時より重なる官民三十餘名を招待して宴會を開催せり六日は午前午後に亘りて釜山憲兵隊警察署等を巡閱し同夜釜山發關釜聯絡船新羅丸にて東上の筈なり(釜山特電)

◎本年貿易觀測

本年の外國貿易は昨年に比して輸出超過額こそ尠少なれ却々殷賑を極め既に十月末迄の輸出入合計を以てして尙ほ昨一箇年間の計數を超ゆるの狀態に在り即ち輸出十五億七千四十四萬六千圓輸入十三億五千二百四萬五千圓合計二十九億二千二百四十九萬千圓にして

▲昨年一箇年間 の輸出入合計二十六億三千八百八十一萬六千圓に比較すれば二億八千三百六十七萬五千圓を增加せるが畢竟するに就中輸入貿易の著しき膨脹が此結果を馴致せるものと謂ふべし而して爰に余一個としての本年貿易の總勘定に對する觀測を下さんに輸出に在りては米國に於ける絹物生產制限實施となれば生絲の對米輸出に多少の影響を與ふる一方輸入に於て亦今回愈々撤廢されたる米穀關稅免除の爲め外國米の輸入を增加するに至るべく

▲之を考量の中に置くとするも結局輸出十九億圓輸入十六億合計三十五億圓に上りて一新記錄を韮すべく輸出超過三億圓を算するに至らんか之を昨年と比較するに恰も輸出は約二割の增加に相當し輸入は約六割の增加を招來すべき計算にして斯く輸入激增の爲め出超の却つて約四割の減少するも已むを得ざる數理と謂ふべし(阪口大藏技師談(東京))

◎內地行滯貨

十月末日現在に於ける鮮線內在荷及び其の輸送力左の如し

▲鮮線內各驛滯貨

月次	米原以東	彥根以西	九州行
三月中申込	七三噸	〇噸	〇噸
六月中申込	四三	一六九	〇
七月中申込	六五五	〇	〇
八月中申込	三九五	一六九	〇
九月中申込	九、〇七七	五、二四三	六四〇
十月中申込	三、六九一	五、一〇九	一、四四九
計	七、二四三	五、九九一	二、一〇九
釜山棧橋滯貨	一六八	二二〇	三四五
鮮線內輸送中	八七八	三四三	
合計	一四、四〇八	三、一七七	

關釜間及び山陽線輸送力は本州行き米原以東鮮商發二〇〇噸釜山地發五〇噸彥根以西鮮商發二八〇噸釜山地發七〇噸計六百噸九州行鮮商發一六〇噸釜山地發四〇噸計二〇〇噸にして鮮線發送に對する制限は車扱承認日數九州行每日四十五車本州行每日十五車なり又一驛一日の發送噸扱二噸米大豆を除く迄斤扱貨物は制限を附せず

◎特別輸送影響

昨報の如く朝鮮鐵道にては滿洲方面より釜山に八九日頃より來月中旬に至る繼續的に一日三箇列車宛特別輸送の爲め運轉せらる、筈なれば南行貨物輸送に再び影響を及ぼすこと、なり當局に於ても之れが調節の爲めに大量貨物の輸送停止又は輸送力の補充等種々變通計畫中の由なるも到底平時の輸送力を得る事難く從つて當局の打擊あるを免れ難きに付き此際荷主に於ては夫々適宜の方法を講じ之が影響の輕減を圖るべし尤も特別輸送中は日常國需品には特に優先輸送を適用すべきを以て是等の輸送量は常時に變らざるべし

東京便り

在京 一記者

◇平民宰相と政黨內閣とを賣物と爲せる原內閣は、漸次退嬰的色彩を露呈し來り、就中對外政策に於て憂慮すべき消極方針に出でんとし、識者の不滿少からざる模樣に候

◇蓋し政黨內閣は國家の政務よりも、黨勢擴張を重しと爲し、對外政策よりも國內の人氣取を急務と爲すが故に、內外政治が姑息、安逸、無爲、放任、遊惰に流るゝは、政黨內閣必然の病弊に候。記者は原內閣を以て未だ前記の弊患に陷れりとは謂はず、然も病患既に第一期に在るは蔽ふべからざる事實に候

◇姑息偸安の代表的政策は、近く對西伯利方針に於いて暴露せらるべく候。西伯利は政友會の選擧地盤にあらず、故に原首相の眼に映ぜる西伯利は至つて無價値の地方なるが如し、彼は帝國の大陸發展を以て、一地方の補缺選擧よりも、重大視せざる樣子に候

◇現內閣は西伯利亞各地の軍隊を歸還せしむる方針を決定致し候、吾人は固より帝國軍隊を無意味に閣外に留め、之を荒野積雪の中に疲憊せしむるを欲せず、故に一部軍隊の歸還は主義に於て反對すべき理由を見ず

◇然れども政府の方針が自屈退嬰の結果にして、毫も積極的方策無き結論なりと云ふに至つては、失望せざらんと欲するも能はず候吾人は必ずしも西伯利亞を占領する野心を有せず、たゞ現政府に今少しく進取の氣象あり、緊張したる對西伯利方策あらば、更に興味ある局面を打開し得ん事、私かに確信して疑はざるものに候

◇更に驚くべきは西伯利東清鐵道に對する政府の見解也。吾人は國家の爲め未だ內幕の全部を素つ破抜かずと雖も、若し現政府の方針を遂行せんか、兩鐵道支配權は終に米國の掌裡に歸せざるを得ざるべく候。無論之れには借款の迂餘曲折あり、又外務省と參謀本部との間、未だ所見の吻合を來さずと雖も、霞ヶ關の軟弱さ加減は何時もながら深慨に堪へず候

◇東清鐵道は一個の營利會社也而して長官ホルワット將軍は、會社の首腦として法律上有効の資格を有す。隨つて彼は前內閣當時、會社を代表して我に一億圓の借款を申込み、協議相當に進捗せるは事實に候

◇然も當時政變切迫し、又契約締結に關し法律上多少の疑問無きを得ざるに依り、借款は不成立に歸したりと雖も、ホルワット將軍が帝國に依賴し、帝國の援助を期待する至情は實に切なるものに候。然るに今や彼は會社經營の資源を米國に求め、米國は之に依つて鐵道に對する優越權を占握せんとす開いた口が塞がらずとは此の事に候

◇米國の西伯利鐵道に垂涎するや久し、夙にルート、クレンスキー密約あり、今春スチーブンス大佐金三億弗を懷ろにし、自ら三百名の鐵道技術員を率ゐて彼の地に入り込めるは、既に公然の秘密に候。近くは我東京駐劄の米國大使モリス氏の西伯利視察あり、米國の政策は着々として豫定のコースを進みつゝあるを看取せざる能はず

◇吾人は徒らに米國の活躍を嫉むかずと雖も、彼の雄圖の奈邊に存するかは、識者の眸裡に最も明白に映出する所に候。吾人は霞ヶ關の諦め居るが如く、單に[illegible]無きの理由に依り指を啣へて傍觀せざるべからざるか、抑も又政府の萎縮退嬰方針に滿足せざるべからざるか、極東の時局を憂ふる者須らく蹶起するを要す

◇惟ふに日本は東洋の優越者にして、西伯利平定の功勞亦帝國に無く候。西伯利は實に朝鮮の延長也、朝鮮併合の理想は同時に西伯利經略の理想たらずんばあらず、吾人は現內閣の退嬰政策を排すると共に、雄心壯志ある國士の蹶起を望んで已まざるものに候(十一日)

◎通信事業好況 豫算超過五十二萬圓

大正七年度九月分通信事業收入は三十五萬九千七百六十二圓にして豫算に比し九萬四千四十二圓(三割五分)を超過し前年度同月分の收入に比すれば七萬六千二百九十圓(二割七分)を增收せり又九月迄の收入累計は二百四十五萬九千八百十五圓にして豫算を超過すること五十一萬千三百九十五圓(二割六分)前年度同期の收入に比し四十萬四千八百四十五圓(二割)の增收となれり五千六百六十六圓同月迄の累計は二百五十二萬七千五百四十七圓にして前年度同期の收入に比すれば九月分は十三萬九千五十九圓累計に於いて五十萬九千九百四十一圓を增收せり

◎手形交換狀況

京城手形交換所に於ける客月中の小切手、手形、爲替證書其他の交換高を聞くに交換枚數五萬九千五百二十一枚、交換金額二千五百七十七萬三千八百五十四圓五十五錢にして本年下半期に於ける累計額は枚數に於て二十二萬一千二百八枚、金額に於て八千四百九十萬五千三萬四十一圓九十一錢を示せり今同月中の交換高を前月に比較すれば枚數に於て五千六百餘枚金額に於て四百三十七萬三千三百餘圓の孰れも增加を示し更に前年同期に對比する時は枚數に於て一萬五千二百餘枚、金額に於て一千三百五十萬一千餘圓の何れも增加を示せり今客月の交換高を一日平均に割當つれば手形枚數に於て二千四百八十枚、金額に於て百七萬三千九百十圓五十九錢となり一枚平均金額四百三十三圓二錢を算す

◇印紙收入概況

大正七年度九月分印紙收入は四十五萬

◇粱內閣出現形勢

錢內閣挫折と共に粱士詒內閣出現の形勢と成れり(北京特電)

◇錢內閣組織辭退

錢能訓氏は四日徐總統及段祺瑞氏に對し內閣組織を辭退する旨を洩せり是安福俱樂部中同氏に同意せざる者あり且つ妥協に就き南方の態度强硬なるより北方主戰派中に總理は軍人を以てすべしと主張し當局に運動せる向きあり同氏辭意は蓋し是等に原因するものと觀測さる(北京特電)

◎市川中將發期 中將に任ぜられ由良要塞司令官に補せられたる市川堅太郎中將は來る十八日朝南大門發赴任すべしと

◎魚住主計正應聘 兵器司令部附三等主計正魚住愼一氏は六日午前九時五十分南大門發北行列車にて奉天經由北京に赴くべし右は今回支那政府の招聘に應じ北京なる支那陸軍經理學堂教官として赴任するなりと

◎露國領事入京 元山駐在露國領事テリス氏は四日午後九時十分南大門着の列車にて入京直ちに朝鮮ホテルに投宿したり

◎廣瀨滿正氏入京 在京都朝鮮殖產銀行監事廣瀨滿正氏は此程行務視察の爲め入京し五日殖銀本店に赴き各理事と諸般の打合を行ひたり

人事消息

▲須藤素氏(江原道第一部長) 五日夜入京不知火旅館へ
▲岩崎虎次郎氏(殖產銀行全州支店長) 同上
▲磯谷鐸氏(鮮銀國庫課長) 同上
▲森惜一氏(同光州支店長) 同上
▲七川常一氏(同清津支店長) 同上
▲伊森明治氏(同成興支店長) 同上
▲佐藤兆造氏(同鏡城支店長) 同上
▲林豐氏(同木浦支店長) 同上
▲大谷新平氏(大倉組支店員) 同天眞樓
▲三木正夫氏(神戸三菱造船所長) 五日夜釜山より入京朝鮮ホテルへ
▲江崎一郎氏(三菱長崎造船所副長) 同
▲湯野寺作氏(古河鑛業取締山部長) 五日朝退京
▲福地信世氏(古河商業參事理學士) 同

鳥瞰錄

英國では代議士連が各其選擧區に熱心游說して盛んに勤儉力行を勸めて居るが其效果は多大なもんださうだ▲日本の代議士連にも少しは眞面目になつて斯樣な運動をやると云ふ人が幾人あるのだろう除り見當り相もない▲英國では金の消費に付非常に嚴重な取締をやつて居るつまり金使の取締をやつて居る處が國民全體も亦其氣になつて假令一文の金でも決して無駄使ひをせぬ樣になつて居る▲我國の消費者を見ると全然之には反對である者が若し此の樣な事をすれば其樣に制限されては何にも出來ぬと苦情たら〳〵だらう▲國民が斯の樣に氣が緩んで居ては戰後の經濟界を悲觀せざるを得ない物價調節抔も如何に氣を揉つても烏渡出來ぬ▲櫻正宗の醸造元山邑太左衛門君の愛孃雛子が犬養君の秘書をして居る貴族院議員星島謹一郎君の令息二郎君と華燭の典を擧げた▲處が二郎君は熱心な基督教主義の社會改良家で酒は絕對に不好で惡魔の樣に思つて居るに拘はらず酒造家の愛孃を愛妻に貰つた▲と云へば妙に奇妙なコントラストであるが其理由と云ふのは斯うである▲山邑は有名な酒造家であり乍ら非常な酒嫌ひで自分の娘の夫たるべき人は絕對酒を飲まぬ信仰ある青年でなければならぬと相手を探して居た▲其處で良緣が忽ち整つて目出度結婚が成立したとは面白い▲朝鮮服で悠々と大連へ乘り込んだ大町桂月君は滿鐵の詩人田邊淮源君と大ひに肝膽相照して居る▲一方は有名な酒豪であるから桂月君も大分弱つて居るらしいが何分禁酒實行中だから盃を手に取る譯にも行かぬ▲瓢簞にばかり醉はせてもろともに浮世の外の月を見る哉など吟じて大分軟化しかけて居るらしい危ないものだ▲が宿は非基督敎の國澤理事長の宅であるから大概は大丈夫だらうと知己連は强がつて居る

◎聯國休戰條件

最近の維也納電報は獨墺兩國に對する[illegible]

▲獨逸に對しては(一)重砲其他の武器引渡し(二)メッツ、ストラスブルグ、コブレンツ[illegible]と傳へ來れるものに比すれば著しく緩和されたる[illegible]墺國は既に[illegible]ウ氏の條件全部を[illegible]の回答[illegible]

▲非常の打擊 なるべし 即ち芬蘭、リチエアニアを包含せるバルチック一帶は[illegible]

は巴里に於て開會せる海軍聯合會議に於て議決し得れるもの[illegible]

▲屈辱的講和 を中心とせる一派は[illegible]を締結せ[illegible]

側の休戰會議に於て利害關係相反[illegible]

◎間島白豆[illegible] 戸の承認通牒を發表せりと[illegible]を禁止せられ居るも本年四月より[illegible]全く其の跡を絕ちし[illegible]

十六日[illegible]▲方向東▲記事除雨ある可し▲警戒區域咸鏡南道、江原道、慶尚南道沿岸

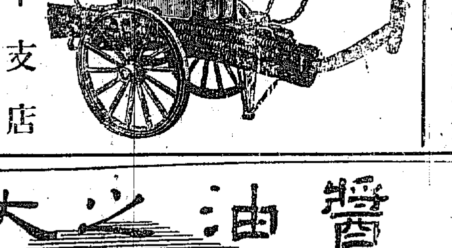
◎◎ストーブ各種及附屬品 魔法瓶幷中瓶取替
京城府本町三丁目 和洋金物商 佐藤半次郎商店 電話長二三〇番 振替口座京城一四三番

御使用先 朝鮮陸軍司令部其他諸官衙廳舍 龍山鐵道倉庫並諸會社銀行倉庫 京城印刷所新築工場 京城本町五丁目

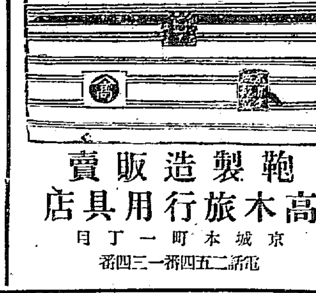
金網入硝子・縞板硝子 磨板硝子・雲板硝子 摺板硝子・雪板硝子

兵庫縣尼崎市 本社 極東硝子株式會社
朝鮮一手販賣店 協同組商業部 京城府南大門通五丁目 電話長一四三一番一七六九番

營業創立明治二十八年 各時計蓄音器卸商 貴金屬製作卸所
京城黃金町一丁目 喜多金光堂 電一〇一五・振替京城七八二

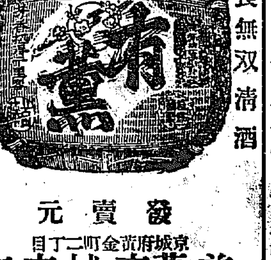
全鮮消防組上納の光榮を有せる 熊平消防ポンプ器具各種

京城 熊平支店 電話長六一二四番 振替京城三二番

平壤京谷商店製 耐火煉瓦販賣
京城古市町 苫米地商店 電話九四一、三一〇八番 振替京城五三三番 (2)

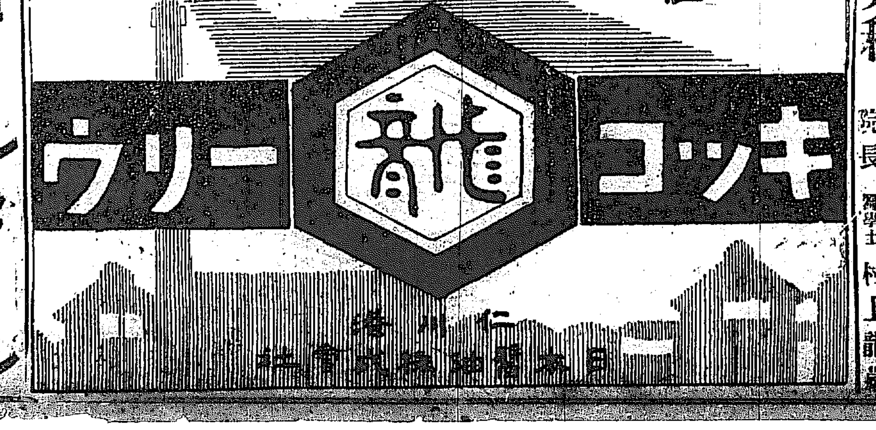
旅行用具一切

鞄製造販賣 高木旅行用具店 京城本町一丁目 電話二五四番一三四番

入院隨意 痔疾專門 京城久枝肛門病院 京城明治町一丁目本町より入る中通 電話二〇二番 十二月中旬より出張の豫定

塗料 土工用器具及材料 船具 油類 金物
雨覆天幕製作販賣 近江帆布會社製品 朝鮮一手特約店 同 免許船燈 製作販賣所 旗印石油組合販賣所
總本店 仁川本町一丁目 村谷本店 電話長五六番 振替京城五九番
支店 仁川府支那町 村谷石炭部 電話八一九 振替京城五五番
平安北道義州城內 義州印刷所 電話長二二 振替京城九八

醇良無双清酒 衞生無害品質無双

發賣元 京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 電話長一七一一番
釜山港幸町 首藤釜山支店

內科 小兒科 村上病院 京城永樂町一丁目(商品陳列館前) 院長 醫學士 村上龍藏 電話六三三番



京城電氣會社製品特約販賣 コールタール 龍山漢江通り八 電話四九番 金物商 島田忠作商店

資本金參百萬圓 明治三十八年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切に取扱申候
京城府南大門通壹丁目十四番地 株式會社 漢城銀行
頭取 男爵 李允用 專務取締役 韓相龍 支配人 石鎭衡 電話長六〇一番
支店 水原、平壤、大田、開城、南大門 出張所 釜山鍾路、東幕

[illegible]……トチエフ兩地方の提供（三）連合國は[illegible]港へ同通信が聯合國側が鐵道を聯合國側に於て使用すると敵國に休戰條件として提示すべしの如きは
[illegible]……てて獨逸は如上の條件中何れも若痛とせざることなきも殊に第三
[illegible]……傳ふる條件は主として陸軍に屬する部分のみにして海軍關係のもの
[illegible]……の部目は海軍の[illegible]……らる而して獨逸國内の情勢に關し最近或方面に達したる報道に據れ
[illegible]……交渉を開始すしとなし居れりと云へば聯合國の提出條件如何に依りては聯合國
◎移民が鐵道に救濟　東拓會社にては過日來移民が鐵道に處理中の所既に内鮮を通じ約六百
[illegible]……東拓部には約七千俵の白豆山と堆積せり尚白豆運搬力不足救濟策として牛疫の爲め朝鮮領より牛車往來
◎暴風雨警報（五日午後二時三十分發）今朝交、風强かる可し▲位置全羅南道▲示度七百五

浦鹽土産

醉漢が居ない

混亂の露國に禁酒令が行はれて居るのは驚異だ!!!

高等警察課長 前田大佐談

◇露國人に行政上の手腕はあるらしい目下の浦鹽は實に活氣横溢の觀がある。宿屋なども何時も滿員で容易に泊れない何處へ行つても門前拂を喰はされる空家も滅多になく内地から商買を始めやうと思つて來ても家が借出せぬ。借ても

▽法外な家賃を絞られると云ふ有樣。汽車はハバロフスク行とニコリスクから岐れるハルビン行の列車が一日に一二回出るが乘客の混雜と來たらお話にならない、鈴成りになつても行けない位、喧嘩腰でなければ乘れるものでない、それから各國軍隊が入り込んで居る故か料亭などは盛んな景氣である、何百名と收容する大食堂でも晝餐時などは一つの椅子も明いてない、然るに感心なのは斯うした上景氣の中に在り乍ら今以て禁酒令が嚴重に實行されて居ることである。

▽露西亞名物の醉漢を一名も見かけなかつた、内密には飲んで居る者があるかも知れないが外面は兎に角立派に禁酒が勵行されて居る。それで料理店でも一本の麥酒さへなく何れも其代用として清涼飲料水などを飲んで居る國家の基礎が渦裂し秩序が紊亂して居る露國に於て斯まで禁酒令が立派に行はれて居るのは一種の驚異である、之は市の參事會か何かで取締つて居るのであらうが全く不思議な觀がある、汽車でも郵便物でも兎に角圓滑に動いて居るには感心であるが事が

▽中央政府に關すると勵搖し易い觀がある、つまり地方〳〵では相當に始末する行政上の手腕を露人は持つて居るのであらう。警察權なども殆んど用ひられて居ないのに拘らず警察事故が殆んど起らないのも珍らしい、それから過激派の爲めに中産階級以上は財貨を略奪されて飢餓に瀕して居るものが多數だと聞いて居たが行つて見るとそんな觀は少しもない、但し沿海州一帶は過激派の爲めに隨分蹂躙された樣子でブラゴエヤアムール附近では中産階級は慘禍を蒙つたらしい、それから浦鹽には上下

▽水道の設備がない。そこで飲料水も井戸や小川の水をそれに從來獨逸からでなければ買

タンクに入れて賣つて歩くと云ふ有樣、それに船付場の事ではあであるから流行病などは如何かと衞生設備は前述のやうに不完全であるから流行病などは如何かと思つて居たが衞生狀態は頗る良好である、市の東末に當つて新韓村と云ふ鮮人の露國歸化人部落があるが總數五百戸許りあつて以前は盛に排日思想を煽つたものだが今日では左程反感を持つて居らぬ。此の連中は日本と露國に

▽二重の國籍を持つて居るもので自分達では露國民を以て任じて居るが近來は稍日本に好意を抱いて居るやうである同地の氣候は今の處朝鮮と大差はなく二十四日ニコリスクの小川の邊には少々結氷して居た位である

◎獨逸に戰後の準備あり

◇化學工業の颶風！

最近歐洲諸國を視察して歸つた某技師の談に曰く『聯合國側では獨逸が此戰爭の爲に多數の工業者を歐洲の野に驅り戰爭に夢中になつて居るから諸工業はお留守になつて戰後は以前の調子に行くまいと樂觀して居る殊に我國の工業就中化學工業は

◇空前の發展を告げて居るから戰後と雖も心配するに足らんと云ふものもあるが找見ると聞くとは大きな相違で決して斯くの如き樂觀は許されぬ否戰爭終了と共に我國の化學工業には大なる影響を來し我經濟界には必ず空前の大不景氣と云ふ恐る可き颶風が來ると云ふのは獨逸は戰時中と雖も

◇勝た腕をもつた技師は特別保護を與へて戰前全世界に誇るに足るべき化學工業品の製造額を少しも減少させて居ないで從來外國に輸出せしもの又は國内消費の餘分は全部政府が之を買上げ保存して居る、そして一朝平和になれば再び此製品を民間の商人に

◇全世界へ賣り出す樣に賣り下げ一時に分思ひ切つた計畫をやつて居る、

へなかつた藥品も其後日本の化學工業が進歩して内地で出來る樣になつたと云ふが硝酸でも何でも獨逸のそれと比較すると素人でも直ぐ『精粗が判る位だから戰後我が國の工業には恐るべき颶風の來る事を覺悟して其準備を急がねばならぬ』

従軍畫報 ◇セミヨノフの[illegible]賣所前◇

セミヨノフが人心收攬のため邦商より供給されたる[illegible]紗綿等をザバイカル州會に委託して市内各所で廉賣を開始した寫眞はアトリヤ街の廉賣所に於て寄せた群集である

◎倫敦の御名代宮

英國陸軍病院に成らせらる

五日式部職より發表せる東伏見宮殿下其後の御動靜は一日午前陸軍病院に負傷兵を御見舞あり午後皇后陛下にて倫敦市長及び市民の歡迎會に列せられ市長歡迎の辭に次き殿下の御答辭あり後午餐會に御列席市長演説に對し殿下の御答辭ありたり（東京特電）

◎刺客の刀を見て……

『故從一位土方伯の事ども』

姉小路公を刺した田中新兵衞遂に割腹す

◇朝敵として薩藩を追つた！

土方伯も遂に薨去したが大分長壽の方であつた伯は土佐の人で王政復古の際には大分身命を捧て國事に奔走したから其逸話も隨分多いけれど同藩の坂本龍馬などの樣に花々しい處は尠いと云ふのは伯は主として三條實美公等を中心として活動したから

血湧き肉躍る的のものは尠い伯の逸話中痛快とも見るのは彼の當時の縉紳中第一の傑物たりし姉小路公知卿が刺客に斃れた時の事である伯は其の當日二度姉小路卿を訪問したが面會する事が出來なくて寓に歸つて居ると變を知らせて來たので早速姉小路邸に飛んで行つた而して刺客が何者であつたか何人も未だ見當だに付かなかつたので取り敢ず

賊の遺してあつた刀を調べて見ると其構へ方が何うも薩摩風であるから扨てはとばかり以心傳心に覺つたので直ちに同志と共に其の方面の探偵に着手した處が恰度之れも兇變を聞いて薩摩邸に潜伏中であつた土佐の那須信吾が夜分ソッと忍んで來たので伯は其の刀を示した那須は熟視して居たが大いに驚き是は正しく田中新兵衞の刀であると斷言した此處で早速姉小路家から右の刀を證據として京都守護職及び町奉行へ告訴したのじ愈事件は大袈裟となり町奉行から公然薩摩邸へかけ合ふ事となつたが何うも要領を得ない處が田中新兵衞は當時

ソッと薩邸から近い東洞院姉小路附近へ仁禮源之丞と變名して忍んで居る事を十津川一揆で有名な吉村寅太郎が探知し一夜仁禮の門で窟待つて乞食に化て郎が裸體に菰を冠して突き止めた其處で伯は町奉行の手を借りては取り逃すかも知れぬから直接京都守護職の會津藩に迫つて拘致を談判した而して仁禮の田中を捕縛して引き出し證據の刀を付けると田中は忽ち其刀を奪つて割腹して死んで仕舞つた之れで本間題も有耶無耶の内に揉み消されんとしたが伯は決して承知せず薩藩を朝敵として攻撃し九門外に排斥せよと主張した結果遂に薩藩も露に乾御門の衞を免ぜられ京都では其勢力を失墜して仕舞つたがまづ之等が伯の歴史中最も痛快な一とつであらう

◎百萬圓の問題

正式交渉か

李鍾浩の其後

元韓國内藏院卿李容翊の孫李鍾浩が祖父の預金通帳を以て第一銀行京城支店に對し元利金合計百萬圓の支拂請求を爲せし事件は三日本紙夕刊に詳細掲載せしが李鍾浩は本紙掲載の記事に依り初めて預金の成行を知り交渉後一同だに銀行側の確答なきに憤慨し居たる折柄なれば今一應事實を確めたる上都合によりては法律上正式の交渉を爲すべしとて五日銀行に向つて再度の交渉を試みたりと

◎嶋村抱月逝く

島村抱月氏は惡性寒冒にて肺炎を併發し五日逝去せり（東京特電）

◎無暗に大事にするな

流行性感冒に就て

子兒に感冒を引かせぬやう注意し豫防する事は最も大切であるが流行の感冒が餘りに猖獗であるところから親達は却つて取越苦勞をして健康なる子兒に迄惡い習慣をつけるのが現に大分あるやうだ蒲著をさせて感冒をひかせたり或は逆

風冒をひかせては大變だと

動して汗を流して來たものを急に着物を脱がせて凉ませたりするのは惡い事だが唯無暗に厚着をさせ股引をはかせ足袋をはかせ外出するときは襟巻までもさせると云ふに至つては實に心得違ひの處置と申さねばならぬ現に電車の中などでも親が用足しに出掛けるとき子供を同伴するのがあるが頭巾附きのマントまで着せて綿入れの重ね着をさせてあるやうなのもある目下の氣候としては實に厚着に失して居る小兒科の醫師も流行の感冒の爲無暗に

大事を取過ぎ弱々しい習慣

をつけるので困ると慨嘆するのを聞いたそして厚着をさせたら感冒をひくまいと思ふが之れは却つて感冒をひき易くなる基だ。斯んな習慣をつけるよりも寧ろ朝夕氣温の降下して居るとき戸外へ出さぬやうにし或は夜分寢具を剝いで寢て居るのを心付かずに居る事の無いやうに注意を拂ふ方が寧ろ豫防法として緊要な事である

京城音樂界

ピアノ

まづ女流から

◇洋樂にも捨難い味が……

時々この種の音樂會を開いて發達させたなら

◇山縣喜久子夫人 竹添町二丁目にセウル、プレス社

山縣喜久子夫人

長の山縣五十雄氏のお宅に奥樣をお訪ね致しました、喜久子夫人は既分お古い東京音樂學校のピアノの方を御卒業になつた方で御座います、玄關に迎へて呉れたのは十二三の可愛らしいお下げの孃ちやんで御座いました刺を通ずると奥樣は早速玄關横の窓に

▽……黄菊白菊の大輪が高く香つて居る應接室に招じて一番末の三千雄さんをあやしながら謙譲な口調で物靜かに語られまし

いやうですそれは一般にまだ音樂的智識が發達されていない事を裏書きしたものと云ひませう、でも近頃は大分こうの道の智識も開拓されて來たやうで御座いますから女流のしかも隠れたる音樂家を御紹介する事もまんざら無駄ではあるまいと

門的に之を成さる方は餘り少な[illegible]奇妙の音樂界には外人其に樂[illegible]

▽……理解して頂く事が六ケ敷いので張合の無い事つたら御座いません、私など西洋音樂には隨分深い、そして捨難い味があると存じますが此方では私共の日からは單調と見られる日本音樂の方がよほど皆さんの御趣味に合ふやうで御座いますね、好きな曲つて私は別に御座いません何でも好きで御座いますから……時々は

◇この種の音樂會なぞ催されて發達させたいものですわね』と淤々と活氣のない樂界を憂ひて居られる色がお顏に現はれて居ました、ピアニストとしての御希望もたんとお有りのやうで御座いましたが謙譲な奥樣はたゞ笑つてばかりいらして語つて下さいませんでした

た『孩なんか最うまつたく駄目で御座います子供は澤山居りますし斯う家庭の世話に追はれては從つてお話の材料も御座いません、學校で御座いますか廿九年に卒業致しましたので隨分

◇古い方で御座います

◇卒業して二年程母校へ奉職して居りましたが子供が出來てからは缺勤勝にもなりますので引かせて頂きましてからは最うちつとも研究なんか出來ません、今頃では時々若い方なんか世話して呉れないかつて御相談を受けますが自分で致しますよりも人樣のを聽いて樂むと云ふ樣な譯で御座います、また時々会館の席へも余儀なく出る事も御座いますが聽衆の方に

讀者文藝（一句二句は五十銭賣付券を呈す）

◇下句つけ（變なものは）

◎變なものは又も頭指の種がまし

仁川本町四丁目一の一【一等】 鈴木篤生

▲見せる香具師の絵看板 龍山 島石
▲變なもの上で見せもせず 京城 猪武者
▲若しや元の甘酒だ 京城 谷曙
▲買つて戻るに二晩の分 平北 奇峰生
▲昔へは云はれぬ跡の中 元山 喜の字
▲秋から秋へ飛び走り 京城 黒眼生

えんざ（演藝）

▲黄金館 七日より大金の動寫映畫へ映畫と新派劇五ヶ日より三月は[illegible]……

▲大金拐帶捕る 咸鏡南道咸興面荷東里七七盧鍾章長男盧炳運（二〇）は去月廿八日五百十圓拐帶逃亡せるより同人取押へ方の依賴全山警察署に來り手配中の處去月或日の夜高麗丸に乘船して日本に赴かんとせるを發見し同行四人と共に押へられ取調中

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.
Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated.
Price ¥ 1.70

一、食餌の進まぬ病人
一、榮養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く感冒に罹り易い人

一、産前産後の滋養を圖りたい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人
一、色青く肉痩せ常に浚ならぬ人即ち所謂腺病質の人
一、腺病即ち腫瘍に罹つて居る人
一、咽喉弱く痩せ咳嗽の癖の人並より

一、多く出る所謂結核性素質の人
一、肺結核や腸結核、肺尖加答兒や肋膜炎、其の他結核性の病などに永く苦しんで居る人
一、右の如き病で發熱の永く續いて居る人

一、下痢の永く續いて居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に侵されて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に罹まされて居る人
一、婆黄病など血液の病に罹て居る人

▼如斯人は滋養料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし▲

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき滋養强壯料

◎ミツワ規那鐵葡萄酒

香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絶

本品は山梨縣宮崎葡萄酒釀造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に、容易に吸收する規那、鐵及葡萄の健胃、補血、强壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香、美味を具へ、食慾缺乏、營養不良、慢性の發熱並に下痢、貧血、萎黄病、貧血より起る神經性疾患殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、産後並に病後の衰弱一般の虚弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり

定價 一瓶 金壹圓七拾錢 内地以外は運賃を加ふ

（現品縮寫圖）

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginsing Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous bebility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria.
Price ¥ 1.80

一、元氣を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、體力を增したい人
一、身體を強壯にしたい人
一、元氣良く活動したい人
一、延年長壽が願ふ人

一、病苦や不快な感覺を忘れたい人
一、精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人
一、食餌を進ませたい人
一、消化を良くしたい人
一、榮養を良くしたい人

一、精力が減り元氣の無い人
一、勉强又は勞働して疲れた人
一、生來虚弱な人
一、身體の疲憊けて居る人
一、貧血して居る人
一、顏の色青褪め艶の無い人

一、手足や腰腹が冷えて寢つかれぬ人
一、些細の事まで氣にかける人
一、悲しい事も無いのに泣たい人
一、悲觀して厭世的になる人
一、精神倦々とする人
一、時々氣を失ふ人

▼如斯人は强壯料◎ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き身體の強壯を圖り尚新活力を賦與し得べき

◎ミツワ人參葡萄酒

風味高潔清和滋養豐富
元氣增進興奮作用優秀

本品は科學的研究を經て効力卓絶なる人參を、周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芳芬にして澄爽、其の味は濃厚にして輕快、能く何人の嗜好にも適應し、元氣を增進せしめ、榮養の佳良並に身體の強壯を資し、精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、尚健者に新活力を賦與する上に於いて他の物を以て代ふべからざる効果あり、本品は隨時隨處飲用すべく、一度沸騰したる水或は諸種の清涼飲料を以て稀釋するも可なり。

定價 一瓶 金壹圓八拾錢 内地以外は運賃を加ふ

（現品縮寫圖）

母と子（十三）

北島春石作　森田久畫

ビヤホール（二）

朔平は呟露して其方を見たが、その眉は見る／＼不快さに曇る。それでも、素氣なく扱ひ兼た義理があつてか、

『やあ！これは猪狩さん。』

『何うですな、今し方一人でパク付き出したところ。此方にお出でなすつては……こゝで遲蒔ながら夕飯を濟ませたら、中洲のお宅へ伺はうと思つてゐたので。』

さう言ひ出されるこ、朔平は逃るにも逃られず、ます／＼辛り切つたが、唇頭だけでは愛想好く、

『それこそ願つたり叶つたり。』こ賑やかな往來を見おろす窓際の椅子を引寄せ

『姐さん、俺にも麥酒を。』こ註文しながら振り返り、

『何うですな？商賣は御繁昌ですかい。』

『いやもうあがつたり！』こ猪狩はニヤ／＼笑ひ『何しろ、成金の高松さんからして、二口三口も期限通り支拂つて下さらんので、その他は推して知るべしですよ。』

『おッは・・・、これや恐れ入つたな。』こ、拔け上がつた額を抑へ『こゝで油を搾るこは些こ手酷しい。』

女給の置いて行つた麥酒に口をつけるこ、猪狩はライスカレーを二皿まで平げた後、鐵管じやにごくり／＼咽喉を鳴らしながら、

『だが、冗談ぢやごわせんぞ、後口の千五百は兎もあれ、この際、三千圓の先口だけは是非きまりを附けて頂かんこ……第一その手前の融通が止まりますからな。』

『いや、まこごに面目もないが……』こ言つたが、憖うなれば圖太く構へるに限るこ、朔平は糞度胸を落着けた『今暫く御猶豫を願はんこ困る。』

『元金の回收より利息を取上げるが商賣の秘法！それを又貴方はキチン／＼こ入れて下さるから、此方には結構なお得意だが、まづ一度は綺麗に支拂つて頂き、その後改めて御相談を搗直すこしては。』

こ、猪狩は拔目なく斬込んだ。

『いゝ歳をしながら高利貸の才取め！そんな甘手に乘るものか。』こ口には出さなかつたが、さう腹の裡で嘲笑ひつゝ、朔平は麥酒のお代りを註文した。

『なる程、それが宜しからう。』

『全くさうして頂けば、手前も金主に面目が立つ道理で……だが貴方の落目を突け込む譯でないから不快な邪推は廻して下さらんやうにな。』

『俺も高松朔平ぢや！』こ、更に麥酒の滿を引く『一時の夢ながら五十萬近くを摑んだ覺もある！未だそんな客々した了簡は持たぬわさ。』

『偉い！さすがに違つたものだ。』こ口に税がかゝらぬこ思つて、無茶苦茶に煽め立てる『話は早いに越した事がない！これから早速中洲へお供を。』

『ところが、今は生憎こ金がない。』

『金が……無い？』

『有るが有るにならず、無いが無いにならぬが相場師の常例。昨今の番狂はせで手痛い矢傷を負はされてはゐるが、風の吹き廻し一つで、明日にも三萬や五萬の仂金が入つて來やう。何うせ延々にもなつた次手、まづ、それまでは猶豫して貰ふこゝに。』

『そ、それは迷惑。』

『こ云つて、貸金の抵當に首を拔かれもしまいし……猪狩さん、まあ麥酒でも飲むべしさ。』

『ふゝん！』こ腕組『貴方は借金を踏倒す了簡だな。』

『時こ場合で兩刀も投出さう……だが、今の處でザッこ十四五萬の負債があるで、いよ／＼破産こなれば、猪狩さんの取前は爪の垢ほご。百兩の抵當に編笠一つでもおこ困りだらうが奪られる此方は猶以て迷惑。おなじ猫の皮を剝くならば、もう少し太らせてからにしては何うですな。』こ泰然自若。

猪狩は敵ながらも強か感服した。

『なる程！さうまで腕が据はらなくば相場は張れますまい。』

○病人を控へた家

熱病者には穀粉

＝牛乳の薦め方＝

食物の選擇及び其の配合方法は日日主婦の最も頭を惱ますものである健康の家人に對して既にさうであるから病人の食物は尙更特別の注意が必要なのである

■食物は消化吸收にも調理法が至つて大切である…牛乳を安全にする法是には消毒が第一に必要である消毒すれば下痢を起す事が少く又牛結核を防ぐ事が出來る第二には穀物汁を混和する事である重湯、葛湯、大麥湯等を牛乳と半々位に混ぜれば消化を助け又下痢を起さない第三は酒類を加へる事でコニャック燒酎等を少し許り加へるこ吞み易くなる第四はココア、珈琲、黑豆珈琲、番茶等を入れる事第五はアルカリを加入する事で一合の牛乳に重曹一瓦位、石灰水十乃至十五瓦を入れるこ下痢を止める第六はペグニンを牛乳一合に二三瓦の割合で入れる事で斯うすれば牛乳は胃に入つて凝固せず直に消化して了ふ第七は牛乳にバタこ鷄こを入れる事で其れは滋養分を多くするものである次に病人に與へる

■植物性食品　では第一に穀粉ソップを擧げる之は粉廿五匁を水四合の中に入れ煮沸して作るので非常に消化し易く胃腸を刺戟せず從つて各種の熱病者胃腸加答兒の人に適するものである次に重湯であるが之は澱粉が多くて便泌を起し易いから下痢の時には適當な物である又麥ソップは護謨質が多く咽喉壁を柔かく濕して咳嗽刺戟を緩和するによいものである…果物は渴を醫し尿を利し便通を和ぐるに効力がある病人には煮て與へるか又は果實ソップ、果實ゼリー、果實汁、果實シロップの形で用ひさせるこ良い

○西伯利の產業

混亂せりこはいへ露國西亞政府の[illegible]の合辦事業を勃興すべく今は唯各[illegible]前述の理由により今の處其規模[illegible]

日報俳壇

■機關車の雜音　山柴坊

曉近う光る螢や露涼し　同
露涼し原へ曳き出す裸牛　同
灯點せば夕顏が寫る鏡かな　同
夕顏に闇の漂ふ垣根かな　同
小亭や花菖蒲濕める潮しぶき　同
投網曳く芥濁る江や蛭の寄る　同
串の火に炒れて蛭降る夜山かな　同
濁り江に蛭泳ぐ杭は朽ちて　同
夕立止む何處からか蝶の一つ來し　同
殺到す夕立や奇峰舐める雲　同
斜陽反射す夕立晴や森林美　同
白浪の寄する岬や夏木立　江菲
海の碧に浮ぶ白帆や夏木立　同
何に祀る家の太鼓や夏木立　同
嗽ぎつゝ垣の朝顏數へけり　同
朝顏に今屋根出でし朝日かな　同
日盛りや雀の浴びる涼　同
屋根裏に鼬鳴き居る梅雨かな　春草
機關庫の雜音暑き住居かな　同
軒燈白う灯れる街や蚊喰鳥　同
街路樹の裏葉煌めく暑さかな　同
枝疎なる高樹の風や星涼し　同
蟬鳴くや夕立晴れし土手の樹々　紫幽
夏川に釣する人や夕日影　同
蟬を捕る兒等に影する木立かな　同
蓮畑の露に濡れたる草履かな　同
美しき蛇の衣や花茨　公緻
浮船の烟らす朝や五月雨　同
尺八を吹き習ふ僧や釣り忍　同
瓜畑の強き陽に蟒が營める　香仙
水盤の岩に來し谷や閑古鳥　同
石狗岩見に涼しき微風　撫枕城
濫伐の山哀れなり雲の峯　石農
秋近き滿邦の野の砲火かな　同
同

日報歌壇

○苦力　乘二而鐵山

赤日さ山の赤土と鬪へる最中に苦力赤裸なりけり。

讀者の領分

日もすがら土に働き苦力の耳にまろ寢りん活かなしも。

汗の國古の國よしかすがにつかれのやよわれもそこに住む。

露しさゝ濡れにしおしたへび山にひさもさ野菊さびしげに咲く。

燃燃煙る礎石を食しけり食しにけりその瞬の恐しきかも。

○　利重　雪牛

こゝろ／＼こもゆる火のあり職工らつかれて歸る山上の火よ。

眠つむれば母のみ顏の夢さ浮くそのたまゆらの淋しさを覺づ

○　群山まで　坂本　綺雨

秋風の淋しき旅にのぼるにも那話の泳を覗くる友あり高須賀獸へ

こゝさらにものにそむきしたましひのさすらひの旅を友は呪へり。

つうら／＼ねむりて居たり汽車の中の旅の疲れは淋しかりけり。

大空にかたよりて動く白雲を旅の空にて見ればかなしも。

▲初冬の歌を募る

▲京城の商人の横柄なには何時も癪に障るが特に鴉の奴が傲慢だ此の如き奴は足袋に引き込んで一個の商戰の的になるもの刺して居るが（一學生）

▲近頃東京からこちらへ參り子供を小學へ通りまして痛切に感じました一つは唱歌のうたひ振りが丸で十數年以前の軍歌式亦は鐵道唱歌式こもいふべき歌ひかたでそれが元氣のある上々のものこされてゐるここであります東京では此の十年以來唱歌は餘程進みました。すべてのここがこんな風であるまいかと實は心細くてなりません處が女學校の方のはさすが内地のと大差なき樣です何さか小學校の先生方にも音樂に關する新智識を普及させて頂き度いものです（新參の母）▲氣紛れで煙火も親しむべく英氣も養ふべく實に好時季となりました其故此期に大いに同好の士相會して研究講習會なるものを組織して小生等同志と研究したし（中田一郎）▲小生は下大に宗敎の闡釋に付き煩悶致し居る一人ですが目下世界に於て最も好き宗敎の名を御知せ下さい（宗敎

新刊紹介（到著順）

▲惟心（一〇）　十八錢京城桂洞四三惟心社
▲帝國農會報（一〇）　十二錢東京赤阪溜池町一帝國農會
▲禪褌（一〇）　十七錢東京京橋岡崎町一の三三禪褌社
▲講談倶樂部（一一）　四十錢東京本鄕駒込坂下町四十八講談社
▲主婦之友（一一）　二十五錢東京神田表神保町二東京家庭研究會
▲面白倶樂部（一一）　二十五錢東京本鄕駒込坂下町四十八講談社
▲鑛業時報（一〇）　三十錢大阪東區上本町一の七工業之鑛業社
▲鑛業通信（一〇）　二十錢東京本鄕湯島天神町一鑛業通信社
▲敎育時論（一二〇六）　十二錢東京麴町飯田町四開發社
▲極東時報（七六）　十八錢東京麴町内幸町一の五極東時報社
▲時事評論（一〇）　十錢東京四谷區町三ノ三八時事評論社
▲實業之靑年（一〇）　三十錢東京芝櫻川町十七實業之靑年社
▲電氣界（一一）　二十五錢大阪北區若松町二六電氣界社

▲五日前場　先限三十二圓四十八錢こ十六錢高[illegible]

大阪前場五節三十二圓七十錢こ變[illegible]

下關期米　一五一九〇

人參エキス　京城本町壹・電話一四八〇・一八七〇番　㋡津村兄弟商會

公告
一、大麥貳千貫
右十一月十一日午前十一時入札ス
希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ
京城府

ともり　内務省衷彰　九回吃音矯正治五千餘名　年中無休詳報郵券送れ　本社東京　廣島市田中町　樂石社廣島支部

流經新藥レスプリン　月經　閉止四五ヶ月以内に確實に流經し其効果他薬に優る作用を以て容易く應用の目的を達し一瓶壹圓廿錢送費十二錢切手一割增説明書三錢切手添申越進呈　大阪北區曾根崎上二丁目三六番地　常盤藥院

いがん病　多年の難病も心配無用不思議に治す良藥有實に妙一錢切手送れ知らす　兵庫縣明石相生町　醫學士宮田敬造氏發見　森末本家

たんせきの良藥セキドミン　本舖大阪道修町　拾五錢　廿五錢　五拾錢　一圓

結核專門　古賀病院　九州線鳥栖驛より四丁

りん病　急性慢性を問はず醫學博士發見の新藥を配合せる淋滅を御用あれば全治迅速なり壹百、一圓四十錢、二圓七十錢、四圓、送料不要

ルーデサック　特製品A十個五十錢廿個九十錢B十個廿五錢廿個一圓三十錢變形一個廿五錢女用一個八十錢月帶一個七十錢郵券（三錢）代用一割增廿個以上料不要　京城黃金町三振替京城三七三　山田文殊堂藥房

嫁に行く娘の手筐に母が籠る情の味の素

あらゆるタベモノのアヂをよくする

味の素

■味の素の用ひ方　調味の粟

吸物　醬油と鹽さへあれば鰹節や昆布を加へずに味よく拵へられます
さしみ　の醬油に加へれば驚く程味がよろしくなります
煮物　に入るれば鰹節を入れずに味がよくなります
酢の物　いし、ひたし物にかけると花鰹より味も體裁もよくなります
茶　に入れると番茶は忽ち最上の玉露に飲めます
よせ物　砂糖や鹽で味を附ける時少々入れて御覽なさい
味噌汁　味噌汁に加へると云ふに云はれぬ味が出ます
鷄卵　燒ても煮ても生でも一度入れたら忘られません
豆腐　ゆがきせいて燒くにも煮るにも少しで味が倍になる

■味の素　美味滋養

レート化粧料

小賣價格改正

壹錢乃至貳錢上げ
レートフード　大瓶
レートクレーム　小器
レート洗粉　特大
レート洗粉　大袋
レートポマード　小瓶
レート乳白化粧水　大瓶
レート水白粉　大瓶
レート粉白粉
レート歯磨　大袋
レート歯磨　小袋
レートチエリー
レート乳白化粧水　小瓶

△壹錢上げ
レート打白粉
レート頰紅
レート透明化粧水
レート紙白粉
レート眉墨
レート水白粉　小瓶

△參錢上げ
レートフード　特大
レートクレーム　中器
レート煉白粉　小瓶

△四錢乃至五錢上げ
レートポット白粉
レートポマード　大瓶
レートクレーム　大器
レート固煉
レート椿香油　立瓶
レート煉白粉　大瓶
レート打白粉　特製
レート椿油　五勺入
レート煉白粉　中瓶
レート乳白化粧水　特大

レート獨特の貴重原料及附屬材料更に昂騰の爲め餘儀なく値上仕候爾後一層品質の精良を期し御愛顧に酬ひ候條層一層御愛用願上候

右大正七年拾月卅一日より實行仕候

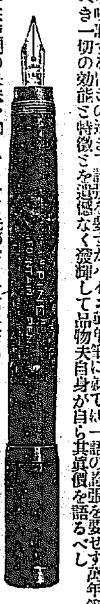
發賣元　平尾贊平　東京

病身は一生の損!!早く滋養大關次亞燐召せ!!

本品は近時賞用さるゝ燐酸カルシユム劑の卒先製劑にて其効顯他に優る可き者なく病身を强壯體とす偉効あり

賣捌は各藥店に

本舖　大阪道修町　藥劑師　小西久兵衞



パイン萬年筆

商品を吹聽するにこの逸まで誇張を要せず萬年筆こして備ふべき一切の効能こ特徴こを遺憾なく發揮して品物夫自身が自ら其眞價を語るべし

萬年筆使用の快味を知らむこせば先づパイン萬年筆に就ては一語の誇張を要すかパイン萬年筆あることを御記憶遊ばさるべし

最新流線式　ビジネス事務用　六圓八十錢
銀浮彫裝飾付　四圓九十錢
實務用　三圓八十錢
學生用　二圓八十錢
ペン一圓九十五錢

發賣元　京城太平通二丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇つ番

眼科專門　京城若草町（總監部通り若草町新道路中程）電一五五六　金井眼科醫院　新築落成●入院隨意●日曜祭日午前中

宮内省御用達

ヒゲタ醬油

千葉縣銚子港　銚子醬油株式會社釀造

代理店　京城明治町二丁目　櫻正宗發賣元　山邑京城支店　電話長八四九番・一四五四番　振替貯金口座京城一七五番